

2025年度  
静岡国道事務所 事業概要

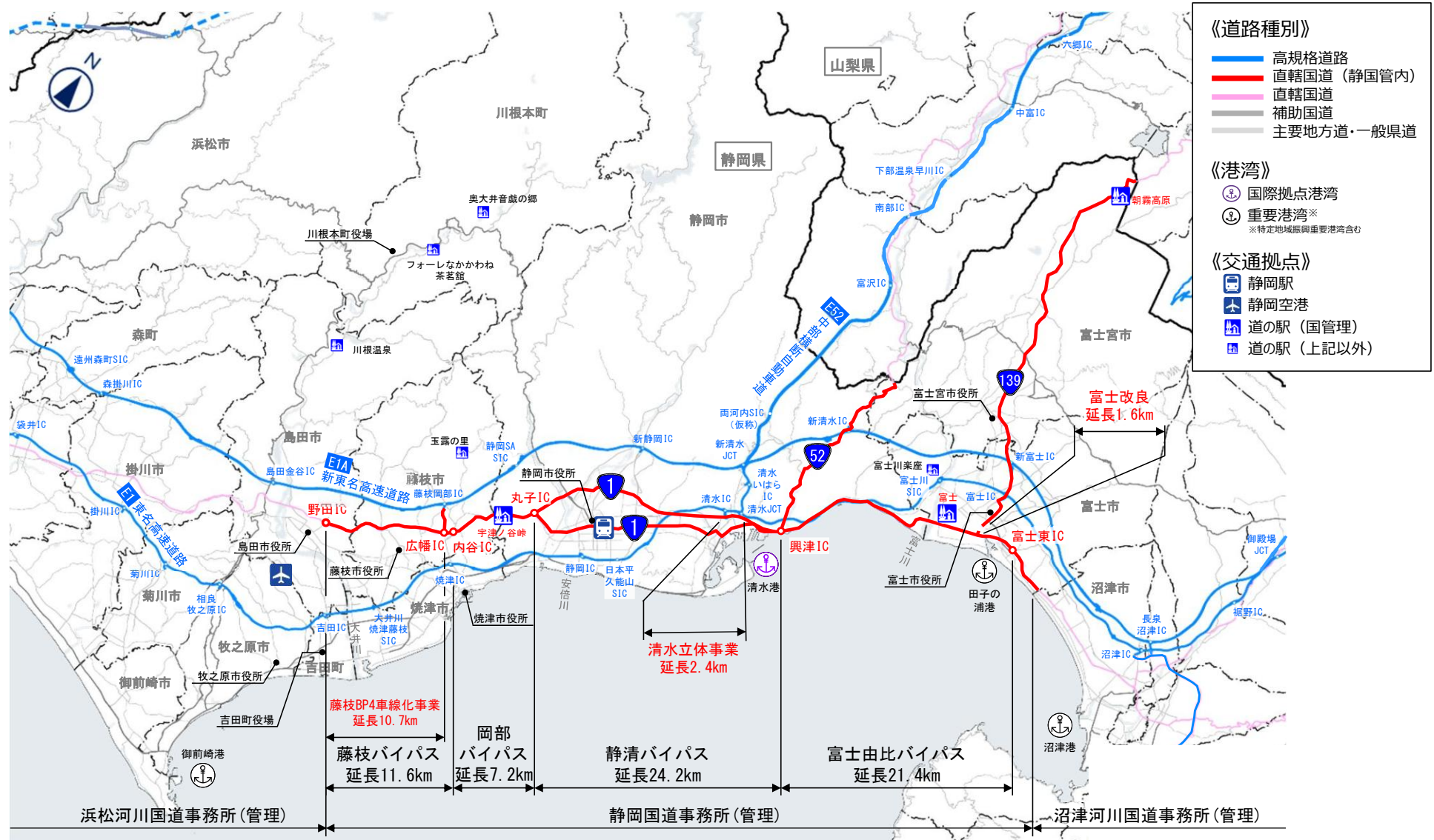
令和7年4月

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所

# 目 次

1. 静岡国道事務所の管内	1	10. 交通安全の推進	45
2. 令和7年度の主な事業	2	11. 無電柱化の推進	48
3. 令和7年度予算と推移	3	12. 標識改善	49
4. 道路ネットワークの機能強化（改築事業）		13. 住民参加型の道路管理	50
国道1号 静清バイパス 清水立体	4	14. 道路を活かした地域の活性化	52
国道1号 藤枝バイパス	8	15. 自転車の利用環境の整備と活用促進	56
国道139号 富士改良	12	16. 地域への情報発信	60
国道1号 富士由比バイパス（富士立体）	14	17. 建設業の課題解決に向けた取り組み	61
5. 局所渋滞対策事業	16		
6. 管内の将来的なネットワーク機能強化（道路調査）	17		
7. 「道の駅」の機能強化	23		
8. 道路管理	29		
9. 災害への備え	38		

# 1 静岡国道事務所の管内



路線名	管理区間		延長 (km)	管理延長内訳			
	起点	終点		静岡国道維持出張所		富士国道維持出張所	
1号	富士市中里字大角2515番1	島田市野田字鎌研1603番1	(23.4) 92.4	新富士川橋右岸から 島田市野田	(23.4) 80.5	富士市中里から 新富士川橋右岸	11.9
52号	静岡市清水区興津中町字弁天 前622番	山梨県南巨摩郡南部町大字万 沢字境川官有無番地	19.5	静岡市清水区興津中町から 山梨県南巨摩郡南部町	19.5	—	—
139号	富士市中丸字木ノ市28番3	富士宮市根原字豊住176番1	36.9	—	—	富士市中丸から 富士宮市根原	36.9
計			(23.4) 148.8	—	(23.4) 99.9		48.8

※( )内書きはダブルウェイ区間の延長。  
※計数はそれぞれ四捨五入によっているため、  
端数において合計と一致しない場合がある。

## 2 令和7年度の主な事業

### ○改築

道路ネットワークの機能強化を図るため、東名高速等の国土軸と拠点都市、港湾を連絡する<sup>せいしん</sup>静清バイパス、工業団地、企業活動の支援に寄与する<sup>ふじえだ</sup>藤枝バイパス、<sup>ふじ</sup>富士改良の整備を推進。

### ○道路調査、拠点

静岡南北道路長沼立体等の調査や道路ネットワーク上の交通拠点となる静岡駅や「道の駅」の機能強化を推進。

### ○維持修繕

橋梁やトンネル等の道路構造物の維持修繕、長寿命化を図るため点検・診断・補修を進めるとともに、地方公共団体と一体となって道路メンテナンスを推進するための会議を実施。

### ○防災

整備した道路ネットワークを前提に、令和6年度の能登半島地震を踏まえた南海トラフ巨大地震時「くしの歯ルート」や最新の被害想定を踏まえた具体の啓開計画の検討、実効性の高い啓開訓練等を実施。



改築（国道1号藤枝バイパス4車線化事業）  
写真：R7.2月撮影



拠点（道の駅「朝霧高原」）  
写真：R6.3月撮影



維持修繕（道路メンテナンス講習会）



道路調査（静岡南北道路長沼立体）  
写真：R6.3月撮影



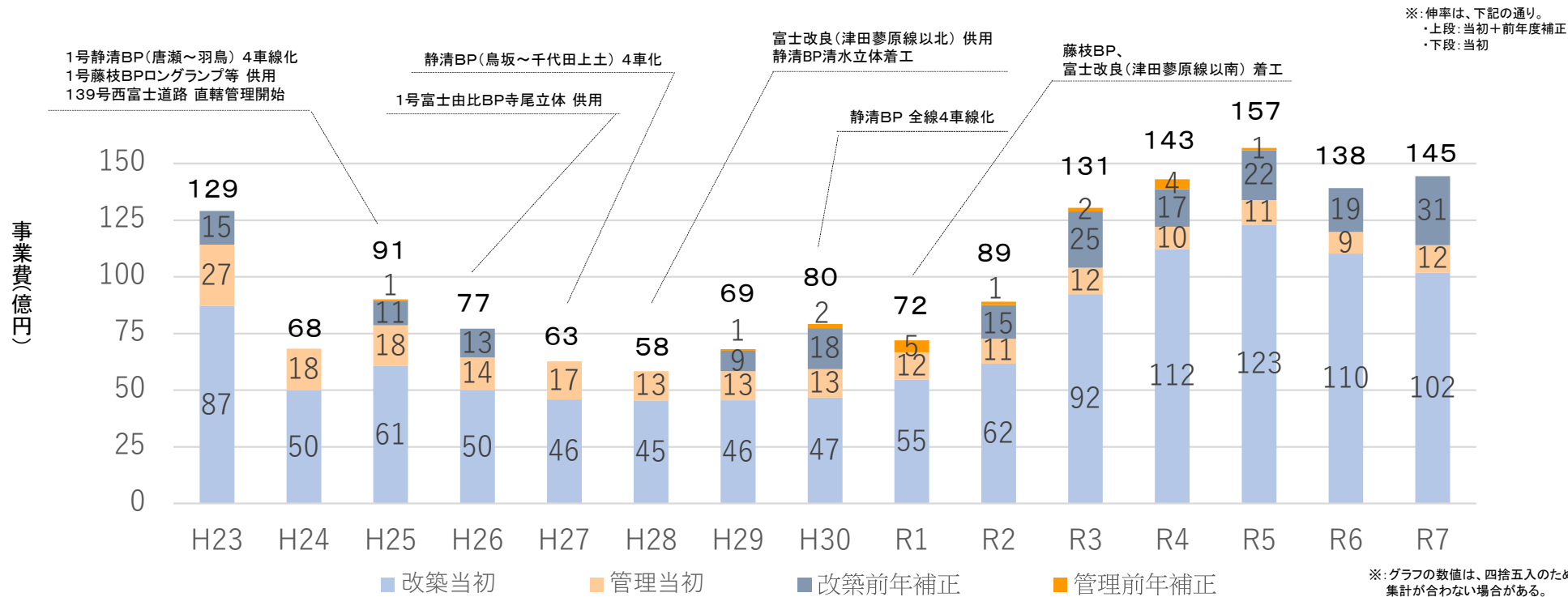
維持修繕



防災（道の駅「朝霧高原」防災訓練）

### 3 令和7年度予算と推移

事業名		R4補正	R5当初	R5補正	R6当初	R6補正	R7当初	伸率 (R7/R6)
改築	国道1号 静清BP	670	7,921	940	6,630	1,510	5,162	0.88 0.78
	国道1号 藤枝BP	1,535	2,854	1,000	2,854	1,390	2,884	1.11 1.01
	国道1号 富士由比BP	0	28	0	27	0	40	1.48 1.48
	国道139号 富士改良	0	1,496	0	1,517	150	2,101	1.48 1.38
	小計(百万円)	2,205	12,299	1,940	11,028	3,050	10,187	1.02 0.92
管理	無電柱化	10	214	0	228	0	307	1.35 1.35
	交通安全	75	871	0	721	30	899	1.29 1.25
事務所計(百万円)		2,290	13,384	1,940	11,977	3,080	11,393	1.04 0.95



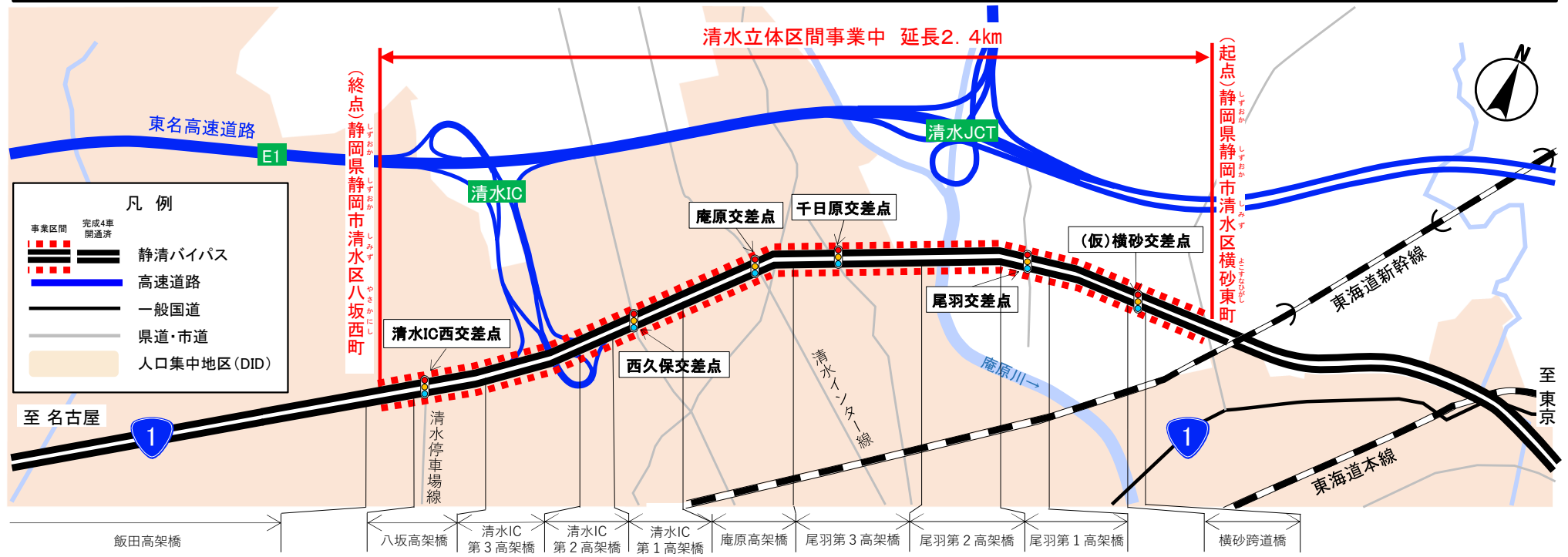
# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

## ○国道1号静岡バイパス清水立体

○静岡バイパスのうち、唯一平面で残る東名清水IC周辺を高架化する国道1号静岡バイパス清水立体事業は、平成28年度に工事着手。

○早期に整備効果を発現させるため、東京向きの上り線の工事を優先的に推進。令和6年度は、全線にわたり橋梁上部工事を実施するとともに、横砂、八坂地区の改良工事等を実施。

○令和7年度は、上り線の床版工事、舗装工事、道路標識や照明設備などの道路附属物の整備工事を実施。



### 令和7年度の主な事業内容

- ◆調査推進 : 調査設計(協議用資料作成等)
- ◆用地買収推進: 移転補償
- ◆工事推進 : 横砂地区ほか改良工  
清水IC第1高架橋ほか上部工  
横砂尾羽地区ほか舗装工  
標識設備工、照明設備工、情報BOX設備工

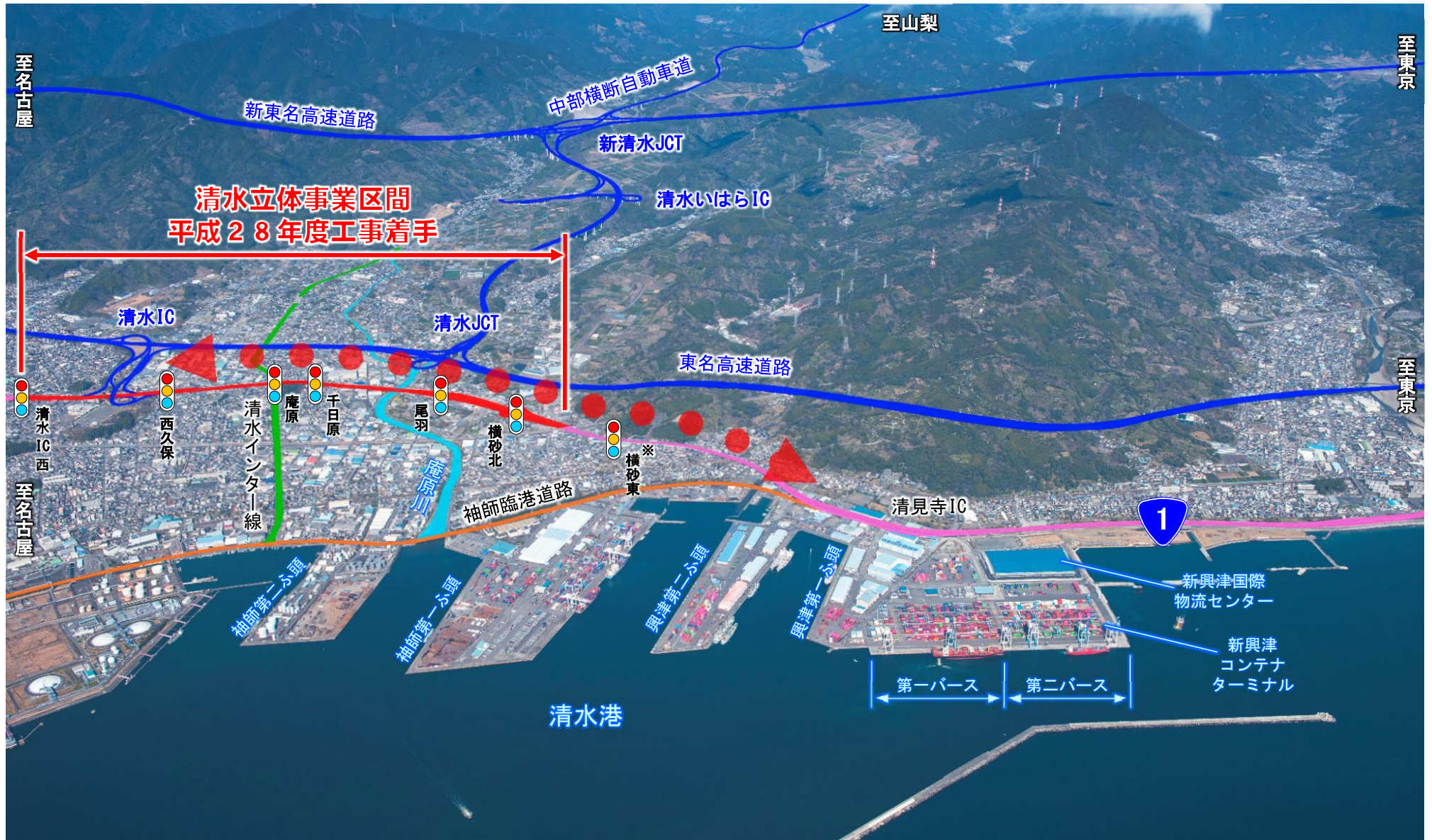
### ■清水立体区間の工事状況



## 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

### ○国道1号静岡バイパス 清水立体

○静岡バイパス本線を介して清水港と東名高速道路、新東名高速道路、中部横断自動車道が直結。



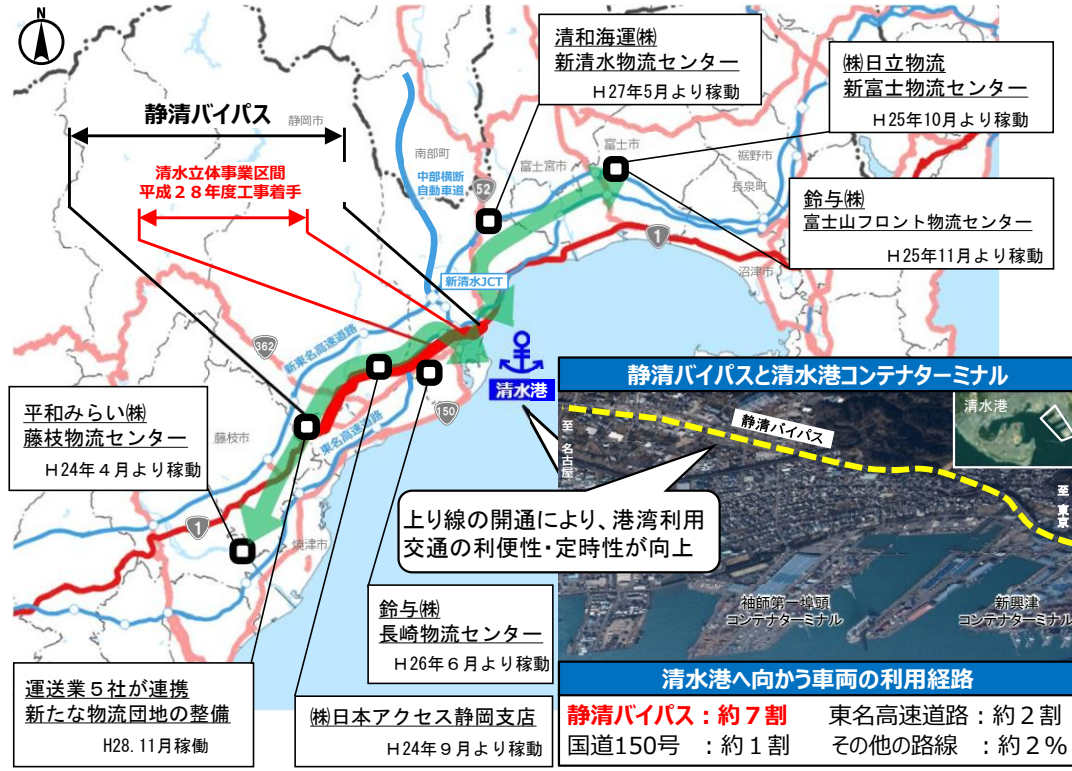
※清水立体事業と合わせ信号撤去予定

# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

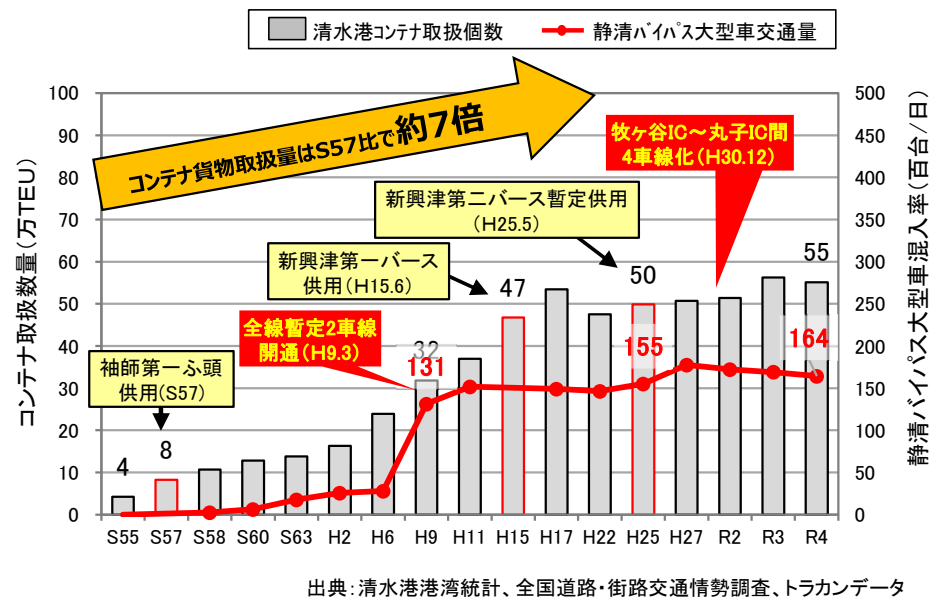
## ○国道1号静岡バイパス 清水立体 整備効果

- 静岡バイパス沿線には、新たな物流拠点の立地が顕著、バイパス整備と相まって清水港の取扱貨物量は増加。
- 清水立体上り線開通により、清水港から物流拠点への輸送時間が短縮し、更なる港湾物流の活性化が期待。

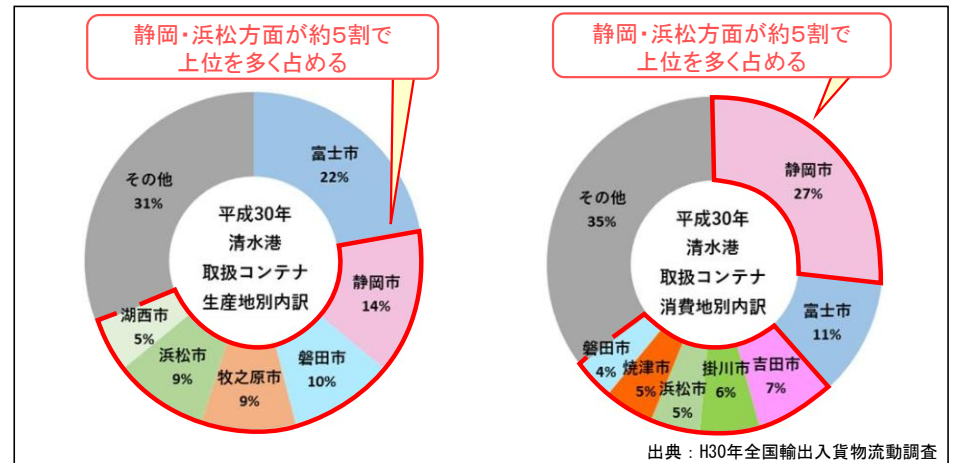
### ■新規立地物流拠点及び清水港への利用経路



### ■静岡BP大型車交通量と清水港取扱貨物量の推移



### ■清水港取扱貨物の生産地と消費地

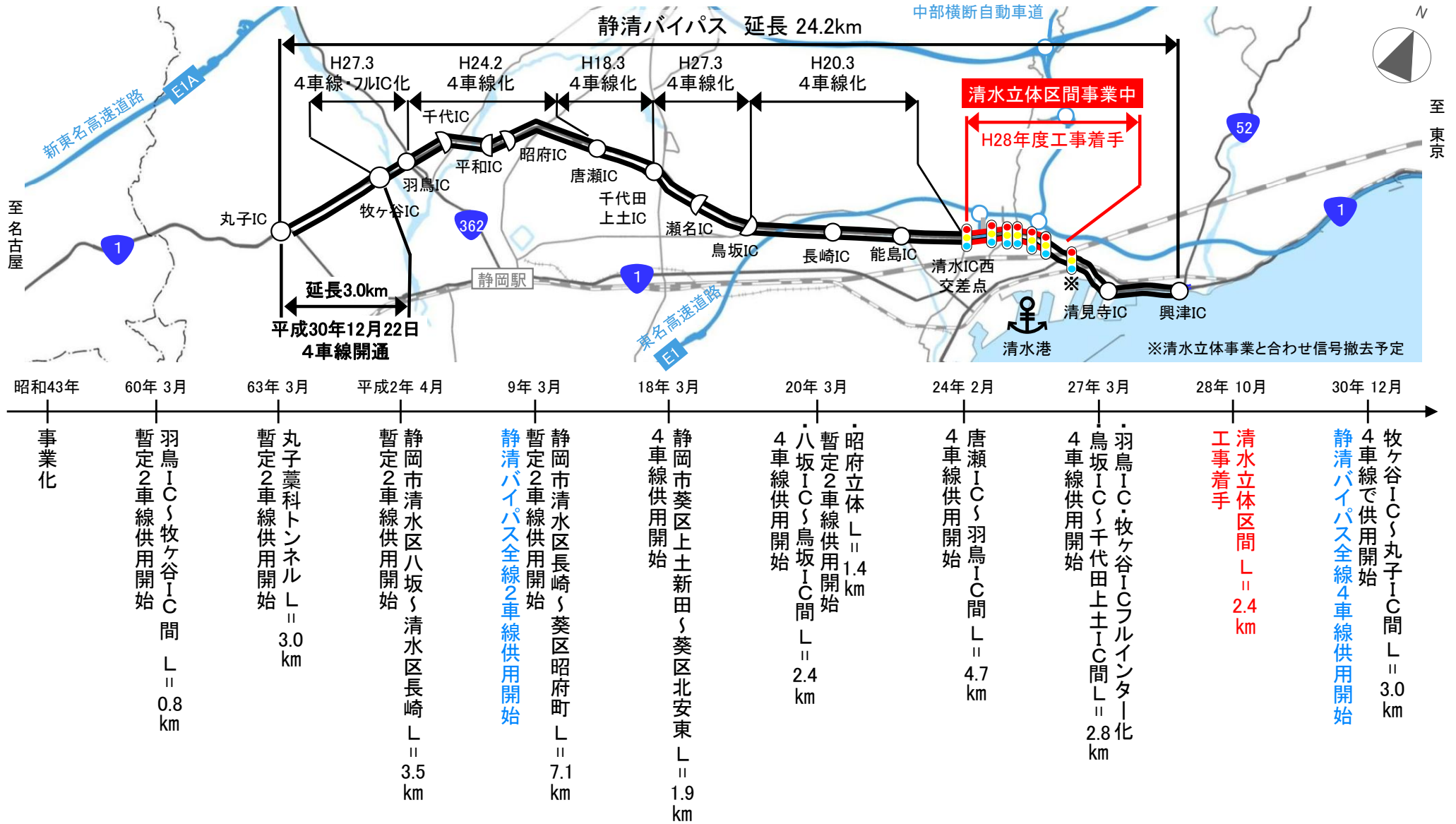


# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

## ○(参考)国道1号静岡清水バイパス事業経緯

○国道1号静岡清水バイパスは、静岡市清水区興津東町から、静岡市駿河区丸子二軒家に至る延長24.2kmのバイパスであり、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援、交通事故の削減、災害に強い道路機能の確保、地域企業の産業活動支援を目的に計画された道路。

○唯一、平面で残る東名清水IC周辺を高架化する「清水立体事業」を現在推進中。

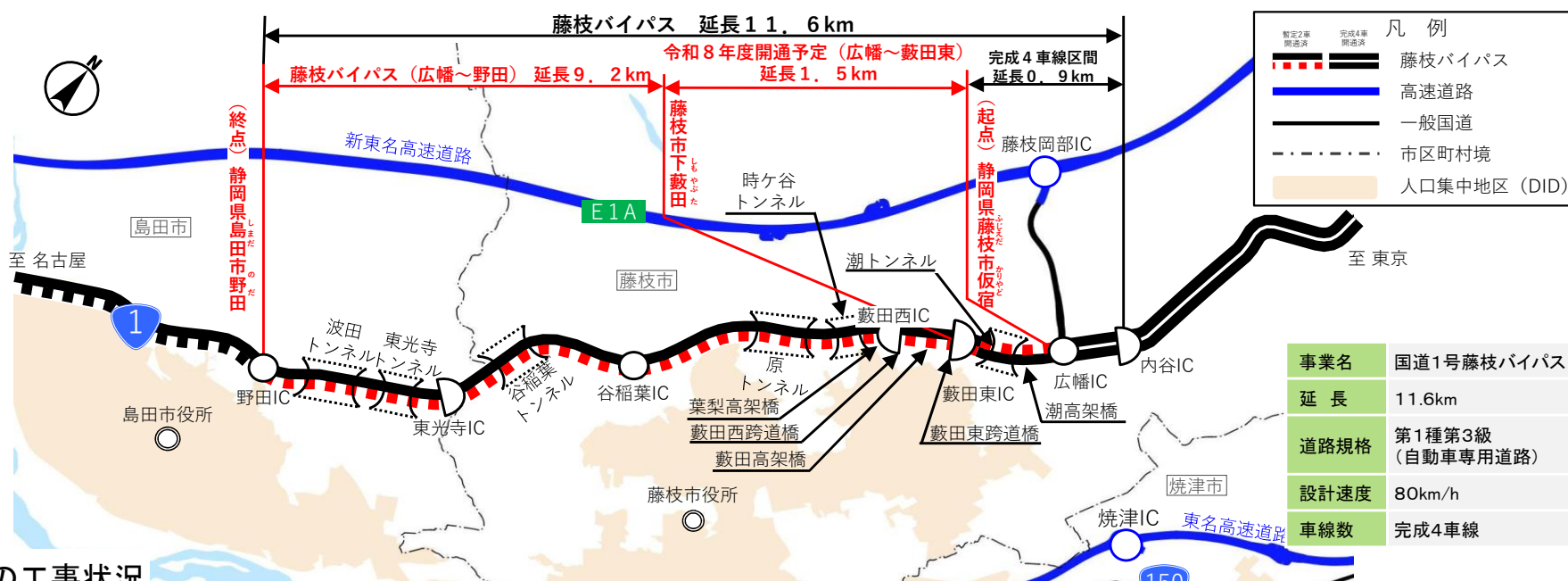


# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

## ○国道1号藤枝バイパス

○国道1号藤枝バイパスは、交通渋滞の改善を図り、企業活動の支援及び市街地部の交通安全確保を目的に平成28年度に4車線化に着手。令和5年度には潮トンネルが貫通し、Ⅱ期線潮高架橋の架設が完了。令和6年度に広幡IC～藪田東IC間の令和8年度4車線化開通予定を公表。

○令和7年度は開通予定区間の改良工事、舗装工事等を実施、藪田東IC以西においては原トンネル、葉梨高架橋下部工事、谷稲葉地区の調査設計等を実施。令和8年度の4車線化開通予定に向け、令和7年4月から走行車線の切り回しを順次実施予定。



### ■ 藤枝バイパスの工事状況



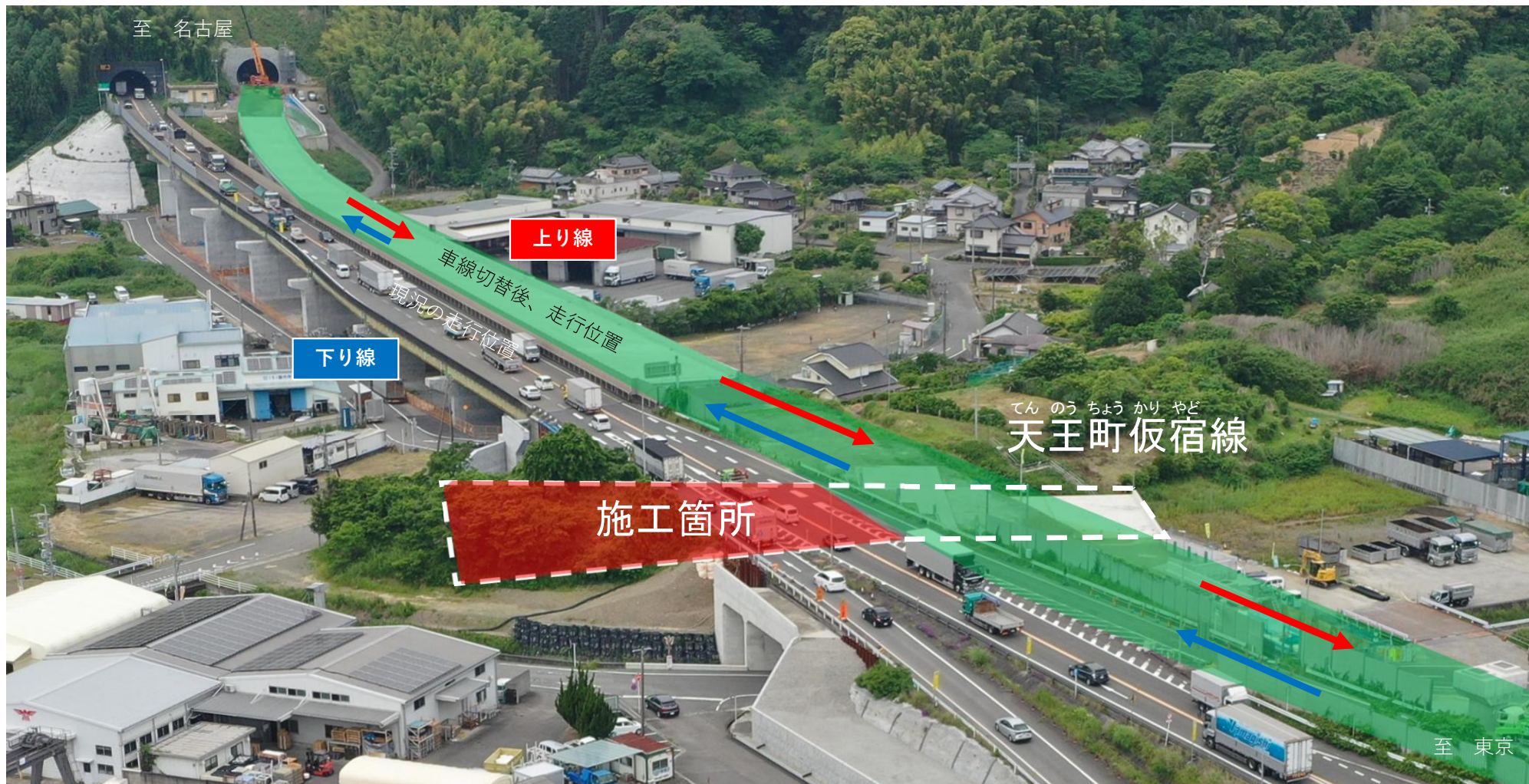
### 令和7年度の主な事業内容

- ◆ 調査推進 : 水文調査、調査設計(協議用資料作成等)
- ◆ 工事推進 : 原トンネル工、仮宿地区ほか改良工、潮高架橋ほか上部工、葉梨高架橋下部工、広幡地区ほか舗装工

# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

## ○国道1号藤枝バイパス 4車線化までの切回し(広幡IC~潮トンネル)

○藤枝バイパス<sup>ひろはた</sup>広幡IC~<sup>やぶ た ひがし</sup>藪田東IC間については、令和8年度からの4車線化共用に向け、令和7年度春頃から現況の**下り線**の交通を**上り線**に切り替え、<sup>てん のうちょう かり やど</sup>天王町仮宿線(施工箇所)の工事を推進。



	R6	R7	R8 開通予定年度	R9
広幡IC~藪田東IC	← 交通切替え →			
函渠工(新設都市道)		← (都) 函渠工<開削>二次施工 →		
潮高架橋・ランプ橋(広幡IC西側の4車線化)	← 舗装工 →	← 上部工 →	← 舗装工 →	
潮トンネル	← トンネル工 →	← 舗装工 →		

# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

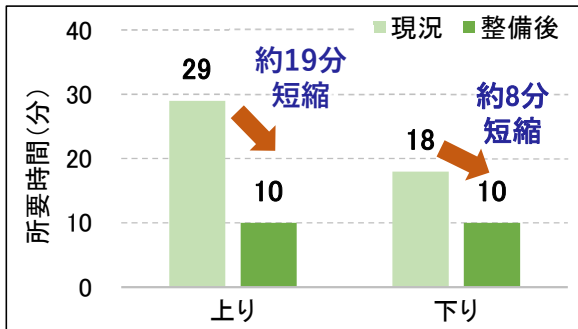
## ○国道1号藤枝バイパス 整備効果

- 藤枝バイパスの4車線化による渋滞緩和により広幡IC～野田IC間の所要時間が短縮。物流の効率化を図り、藤枝・島田地域の円滑な企業活動を支援。
- 渋滞緩和により県道や街路から藤枝バイパスへ交通が転換することで、市街地の死傷事故率の低下が期待。

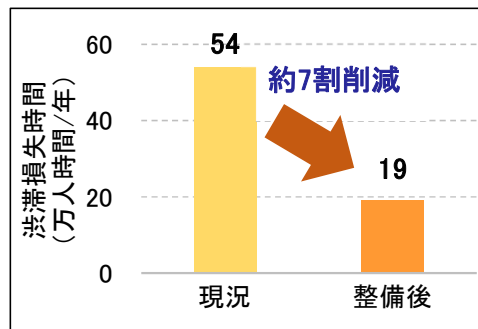
### ■藤枝市・島田市の物流輸送を支える藤枝バイパス



### ■藤枝バイパス4車線化による時間短縮効果

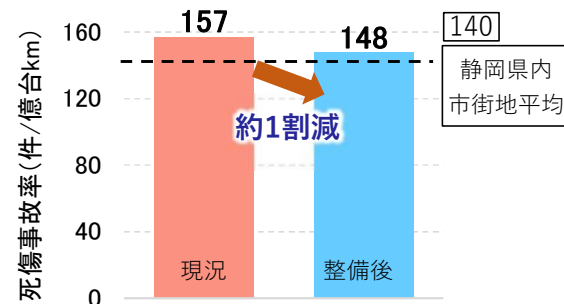


現況 : ETC2.0データ(R4.10平日)ピーク時旅行速度  
整備後: 藤枝バイパス事業区間は60km/hで算出



現況 : R4年間値  
整備後: 交通量推計結果(R22)より算出

### ■藤枝市街地の平均死傷事故率



#### ・平均死傷事故率

現況: 交通事故統合データベース(H30~R3年平均)  
整備後: 交通量配分結果より整備前後の変動率を算出し現況に乗じて算出

- ・市街地定義: 代表沿道状況が「人口集中地区」「その他市街部」の道路
- ・抽出道路: 国道を除く一般県道・地方主要道を対象

### ■道路網強化による医療サービスの向上

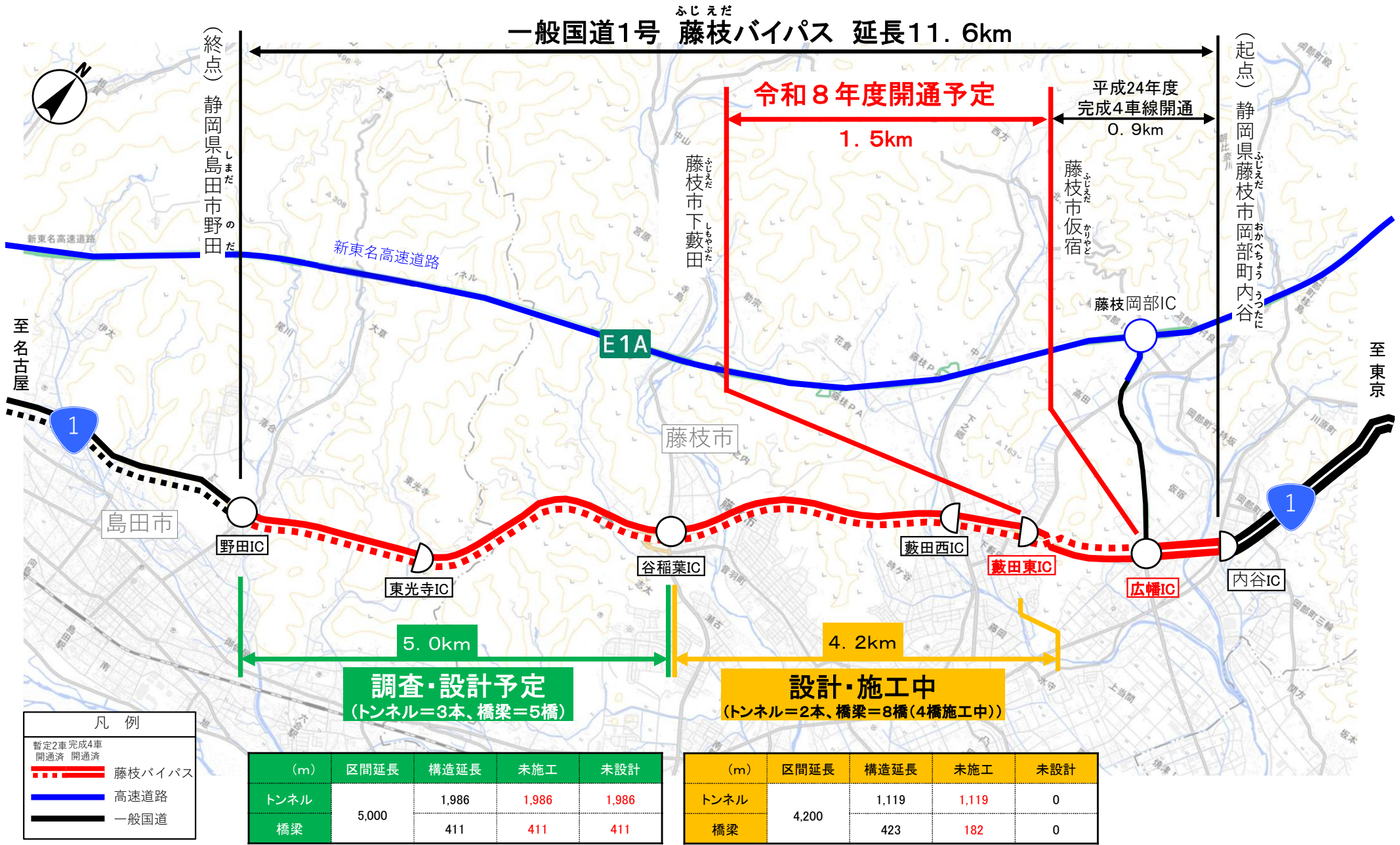


速度データ: 平日ETC2.0データ(R4.10月)7時台平均旅行速度  
※整備後: 藤枝バイパス事業区間は60km/hで算出

# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

## ○国道1号藤枝バイパスの今後の展開

ひろはた やぶ た ひがし  
 ○広幡IC～藪田東IC間の開通後、早期の全線4車線化開通を目指し藪田東IC以西のトンネル、橋梁設計を実施。



凡例

■	暫定2車線完成4車線開通済
■	開通済
■	藤枝バイパス
■	高速道路
■	一般国道

(m)	区間延長	構造延長	未施工	未設計
トンネル	5,000	1,986	1,986	1,986
橋梁		411	411	411

(m)	区間延長	構造延長	未施工	未設計
トンネル	4,200	1,119	1,119	0
橋梁		423	182	0

# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

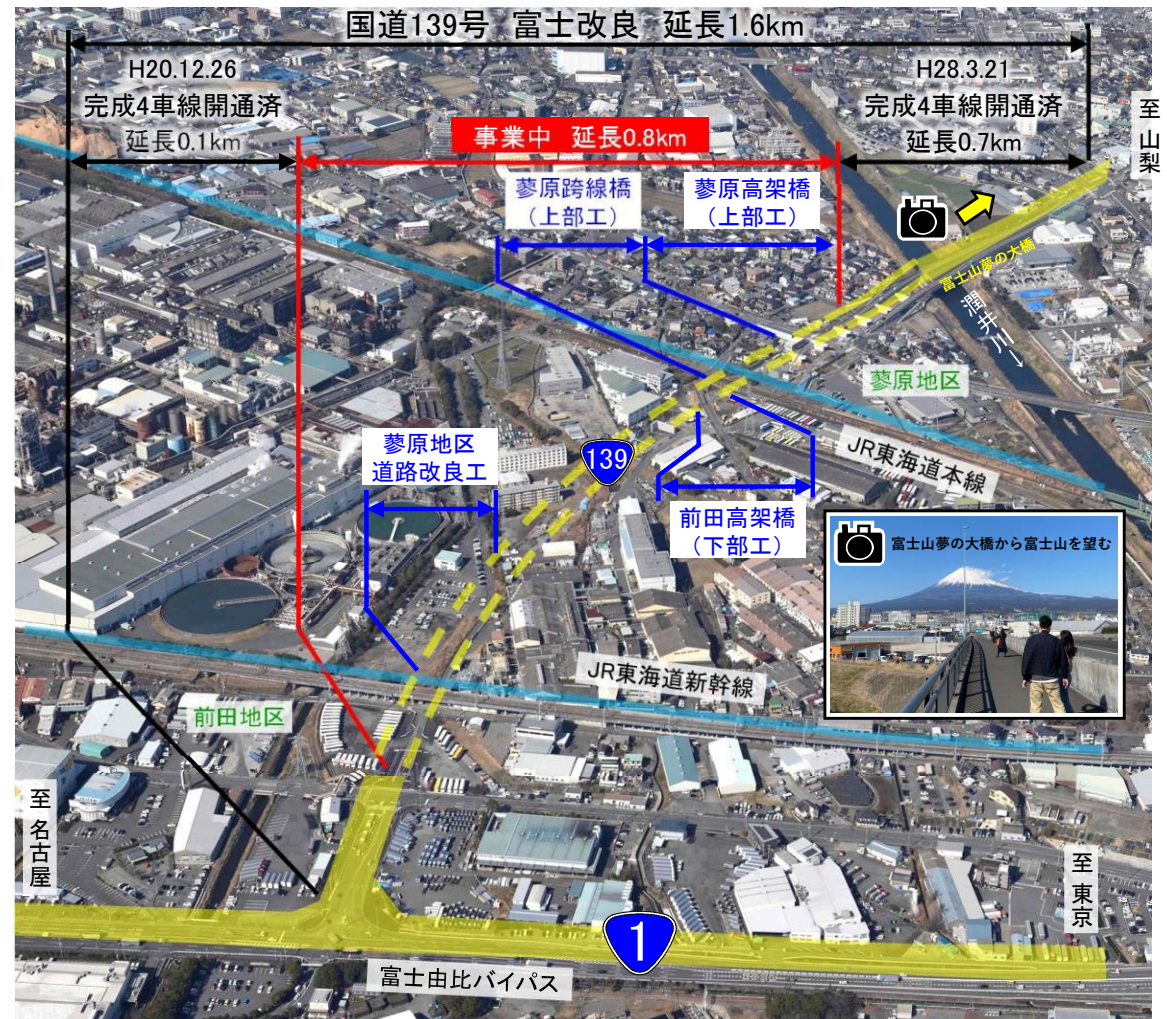
## ○国道139号富士改良

- 国道139号富士改良は、富士市内の南北軸を形成する国道139号と国道1号を接続し、富士市街部の交通混雑の緩和を図ることを目的に、平成5年度に着手。平成28年3月に(都)津田蓼原線以北を供用。
- 令和元年度に蓼原高架橋の下部工事に着手。令和2年度に移転補償契約、令和3年度に鉄道委託協定を締結、令和5年度から令和6年度はJR東海道本線を跨ぐ蓼原跨線橋の上下部工事、架設工事等を実施。
- 令和7年度は、引続き蓼原跨線橋の架設、蓼原地区の改良工を推進し、新たに前田高架橋の下部工事に着手。



### 令和7年度の主な事業内容

- ◆ 調査推進 : 調査設計(協議用資料作成等)
- ◆ 用地買収推進 : 蓼原地区移転補償
- ◆ 工事推進 : 蓼原跨線橋上部工、蓼原地区改良工  
前田高架橋下部工



# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

## ○国道139号富士改良 整備効果

- 富士市街地(青島交差点)から直線的に国道1号へアクセスが可能となり、国道139号現道経由に比べ所要時間が短縮。並行路線から富士改良区間へ交通を転換させる事で周辺道路を含めた死傷事故の削減が期待。
- 田子の浦港と工業団地の所要時間が短縮され、富士市・富士宮市の物流効率化に大きく貢献。

### ■国道139号現道部の状況



[信号交差点による渋滞状況]

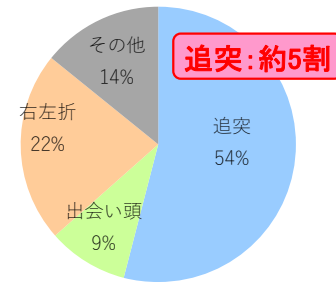


[鉄道踏切による渋滞状況]

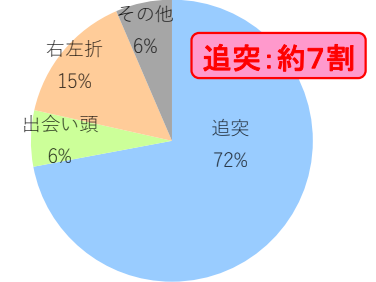


### ■富士改良並行路線の死傷事故類型(R1~R4)

[(都)田子浦伝法線・(県)富士停車場線]



[国道139号現道]



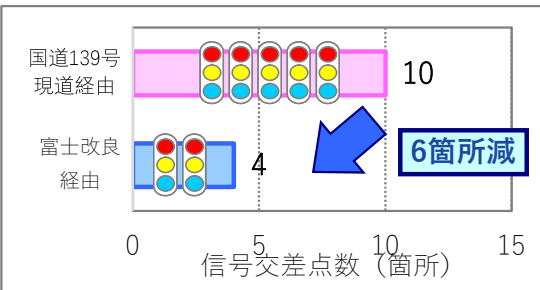
### ■田子の浦港~工業団地の所要時間短縮効果

出典: 交通事故総合データベース(R1~R4)

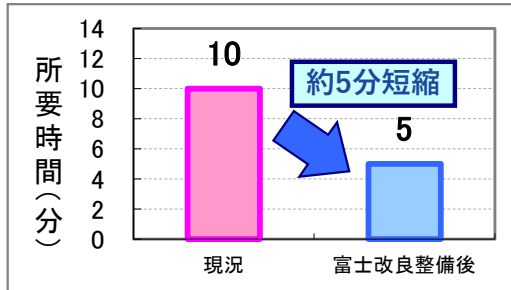


### ■富士市街地から国道1号へのアクセス性向上

《富士市街地~国道1号までの信号交差点数》



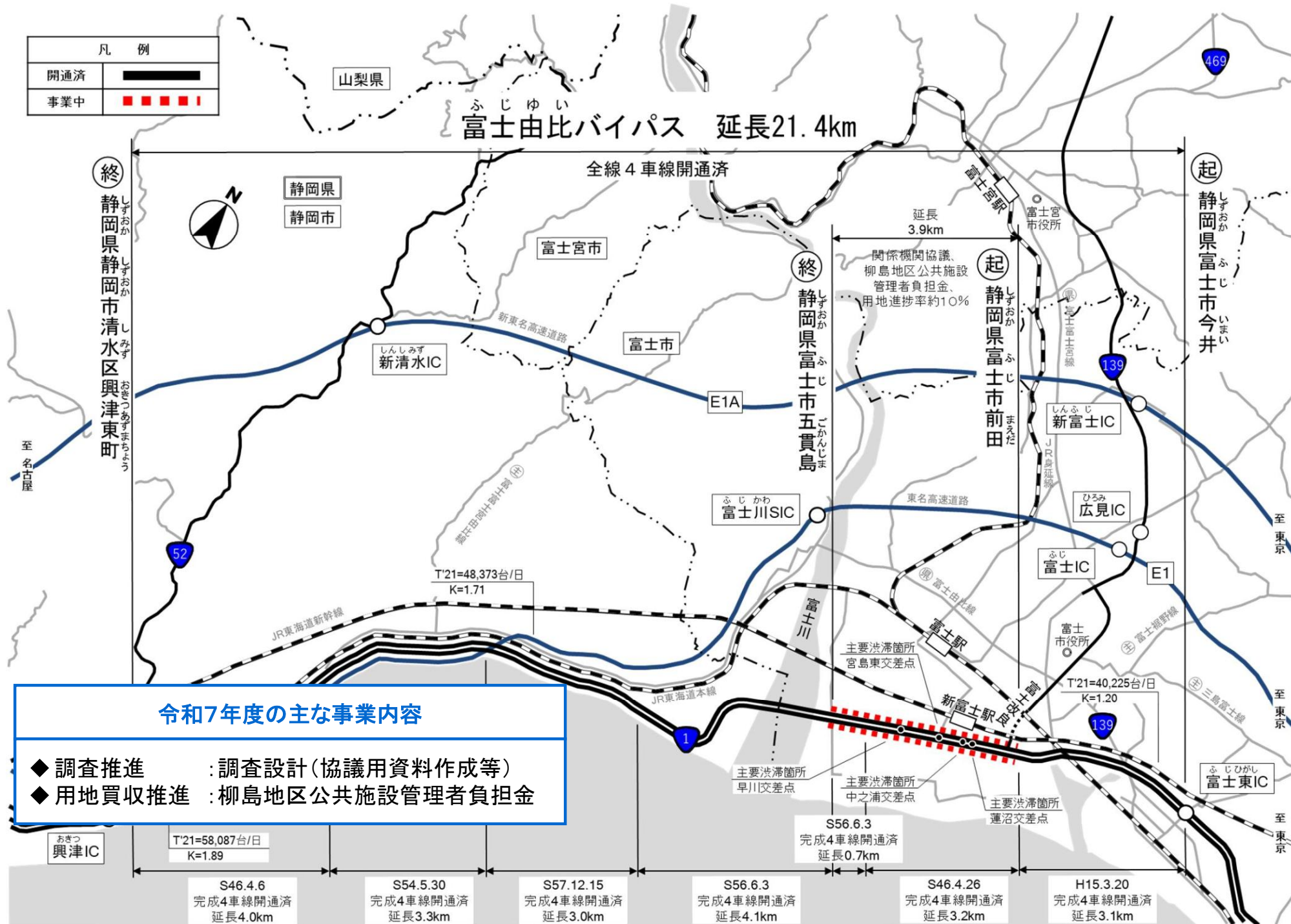
《富士市街地~国道1号へのアクセス時間短縮》



※ 現況: 国道139号現道における平日ETC2.0データ(R6.4月)平日7時台を基に算出  
 将来: 未整備区間は設計速度60km/hで計算、その他区間はETC2.0プロデータ(R6.4月)平日7時台を基に算出

# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

## ○国道1号富士由比バイパス(富士立体)



# 4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

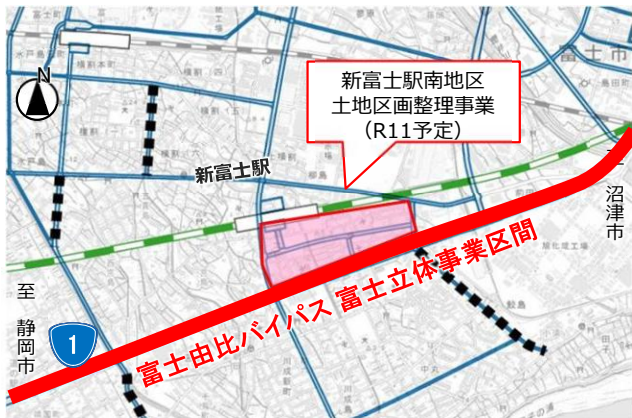
## ○国道1号富士由比バイパス(富士立体)

○国道1号富士由比BPは静岡市清水区から富士市今井(延長21.4km)の内、平面区間として残存する富士市五貫島から富士市前田(延長3.9km)を立体化し、慢性的な交通渋滞の緩和を目的とした事業。

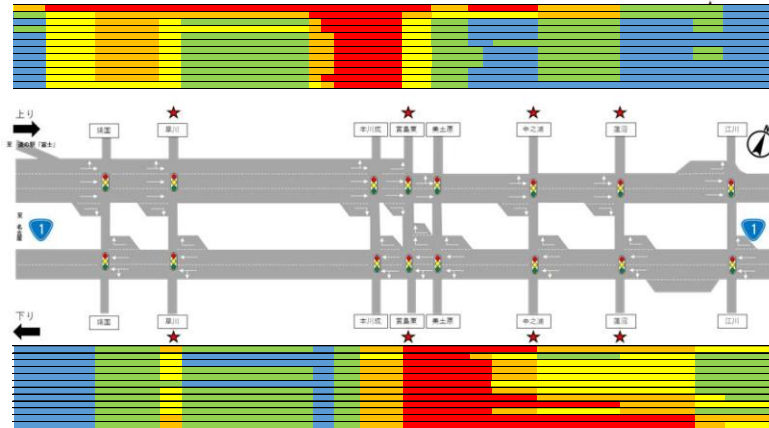
○現在、富士市の土地区画整理事業に合わせて用地買収を実施。

○岳南地域関係者の協力を得ながら、現在の交通特性を踏まえた将来交通予測分析を行い道路構造を検討。

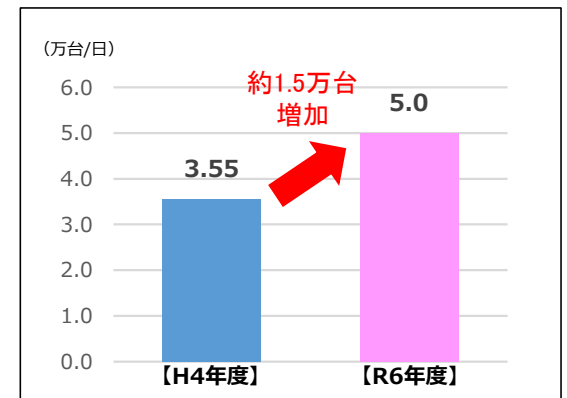
### ■土地区画整理事業



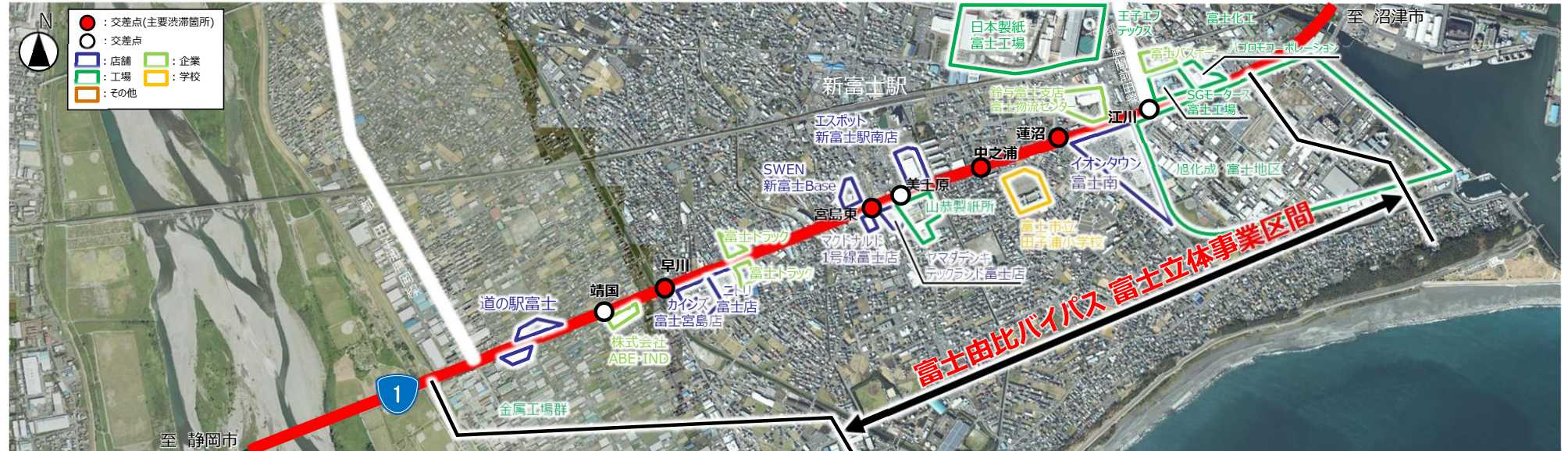
### ■旅行速度



### ■交通量推移(都計時点⇒現在)



### ■現在の交通状況、主な沿道施設・開発状況



出典：プローブデータ(2024.4月平日平均)

H4年度交通量：1号富士由比バイパス調査概要書 (S63道路交通センサ)  
R6年度交通量：交通量実態調査 (宮島東交差点西側断面、R6.5.23(木))

# 5 局所渋滞対策事業

## ○国道139号 小泉若宮交差点渋滞対策

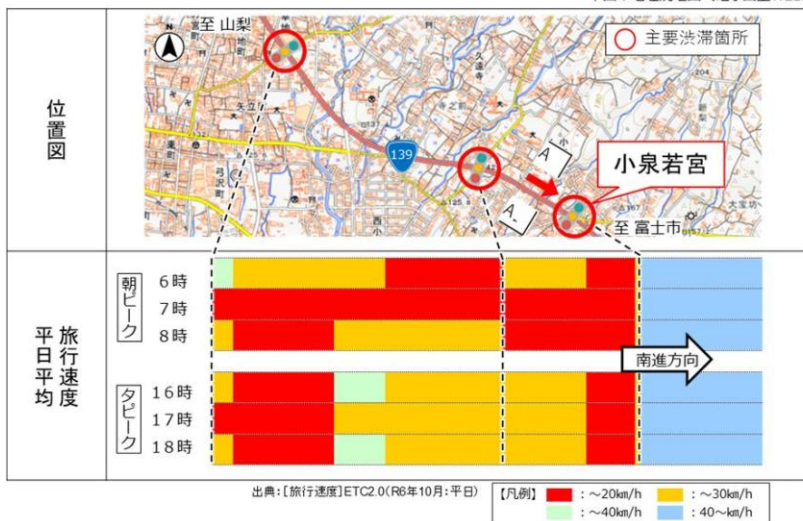
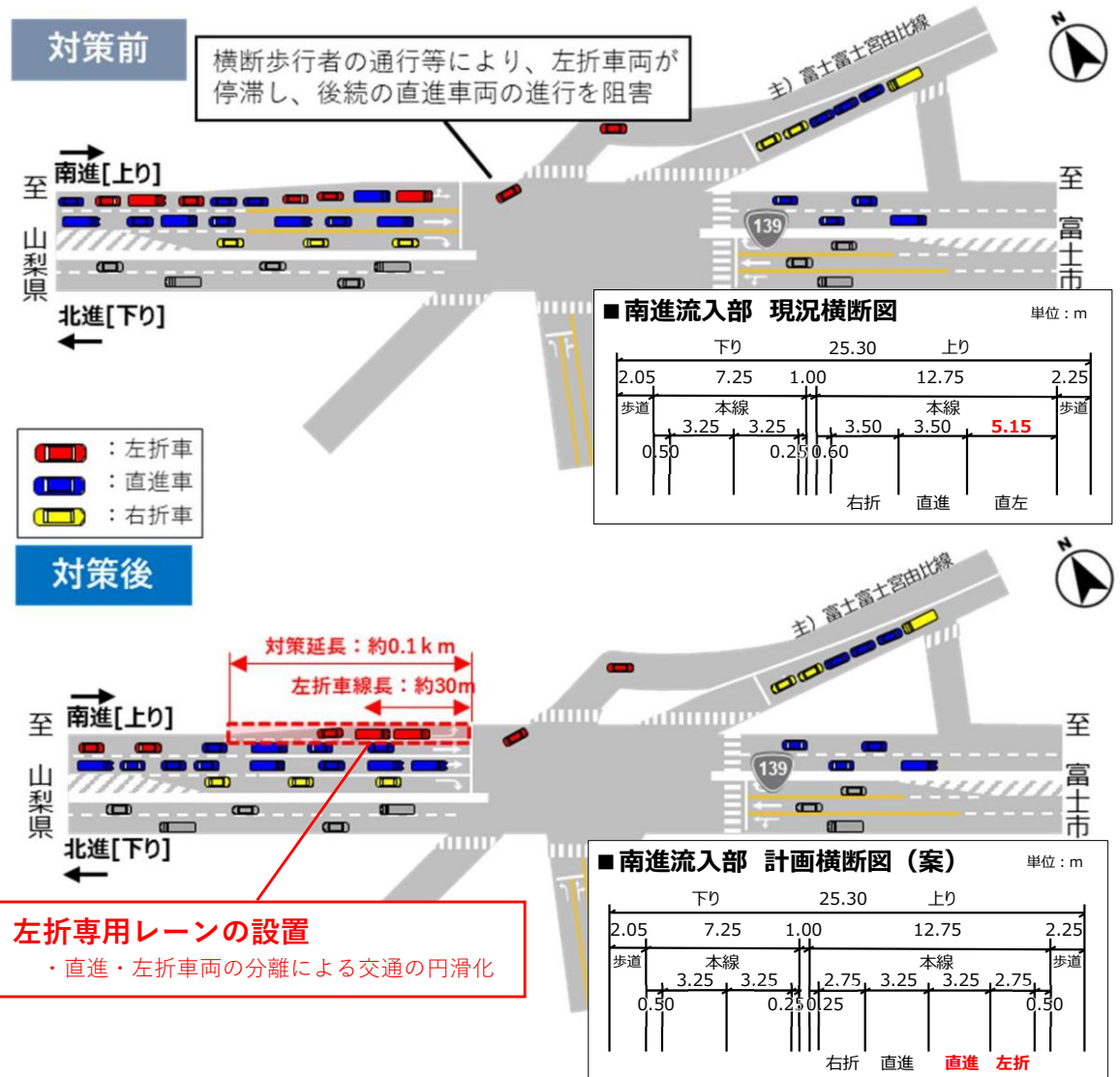
○国道139号小泉若宮交差点では、南進の車線が左直/直進/右折となっており、直左車線に左折車両が混在することにより旅行速度が低下。左折専用レーンの新設により左折車と直進車の混在を解消する局所対策を実施

○令和7年度は道路設計、関係機関協議を実施

### ■位置図・現況



### ■対策内容



# 6 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

## ○新広域道路交通計画・管内調査箇所

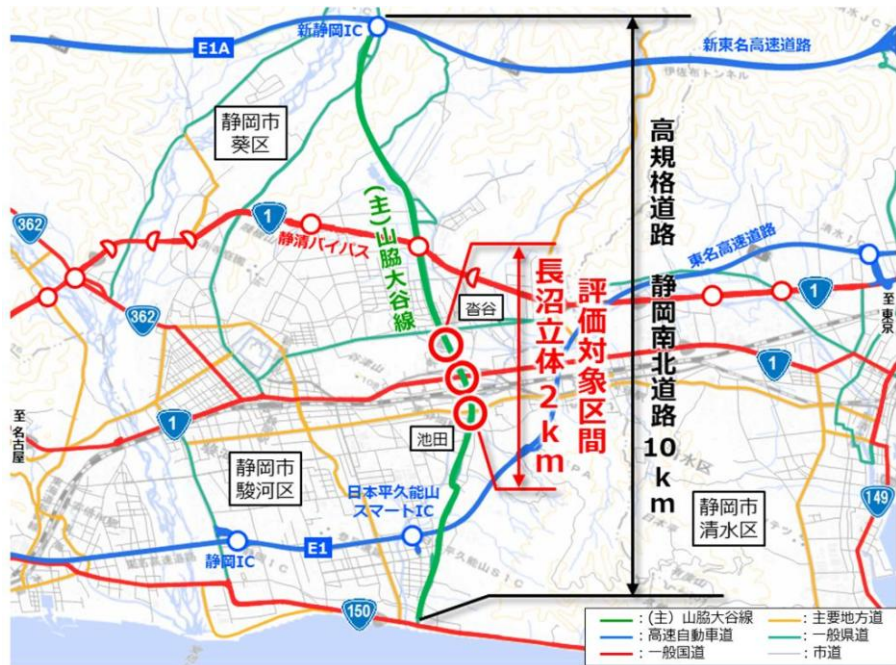
○中部ブロックの将来像の実現に向けて、広域道路ネットワーク、交通・防災拠点、ICT交通マネジメントの3つの観点から、令和3年3月に新広域道路交通計画(中部ブロック版)を策定。令和5年4月1日に更新



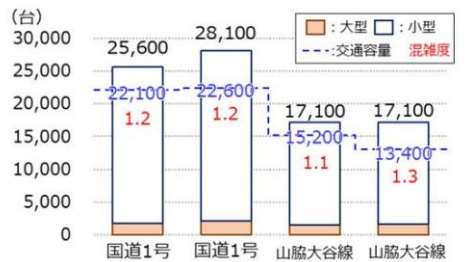
# 6 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

## ○静岡南北道路 長沼立体

- 国道1号と(主)山脇大谷線が交わる長沼交差点では、交通集中および交通容量不足により慢性的な渋滞が発生している状況。令和3年8月の静岡県道路交通渋滞対策推進協議会において、静岡鉄道と長沼交差点を跨ぐ(主)山脇大谷線の立体化事業とJRを跨ぐ長沼大橋の架替事業の一体的な実施を、行政機関での機能強化案として確認。
- 令和4年度より計画段階評価に着手し、令和5年2月には第1回中部地方小委員会を開催、令和5年度以降は、第1回意見聴取および概略ルート・構造の検討を実施。
- 令和7年度以降も、引き続き国・静岡市が連携し、計画段階評価を進めていく。



■長沼交差点の交通量



※交通量データ: R元.10.17(木)12h交通量調査結果

■所要時間(沓谷5丁目南交差点 ~池田交差点 約1.7km)



※出典: ETC2.0データ(R3.10月平日)



※写真撮影日: R3.11.11(木)16時台

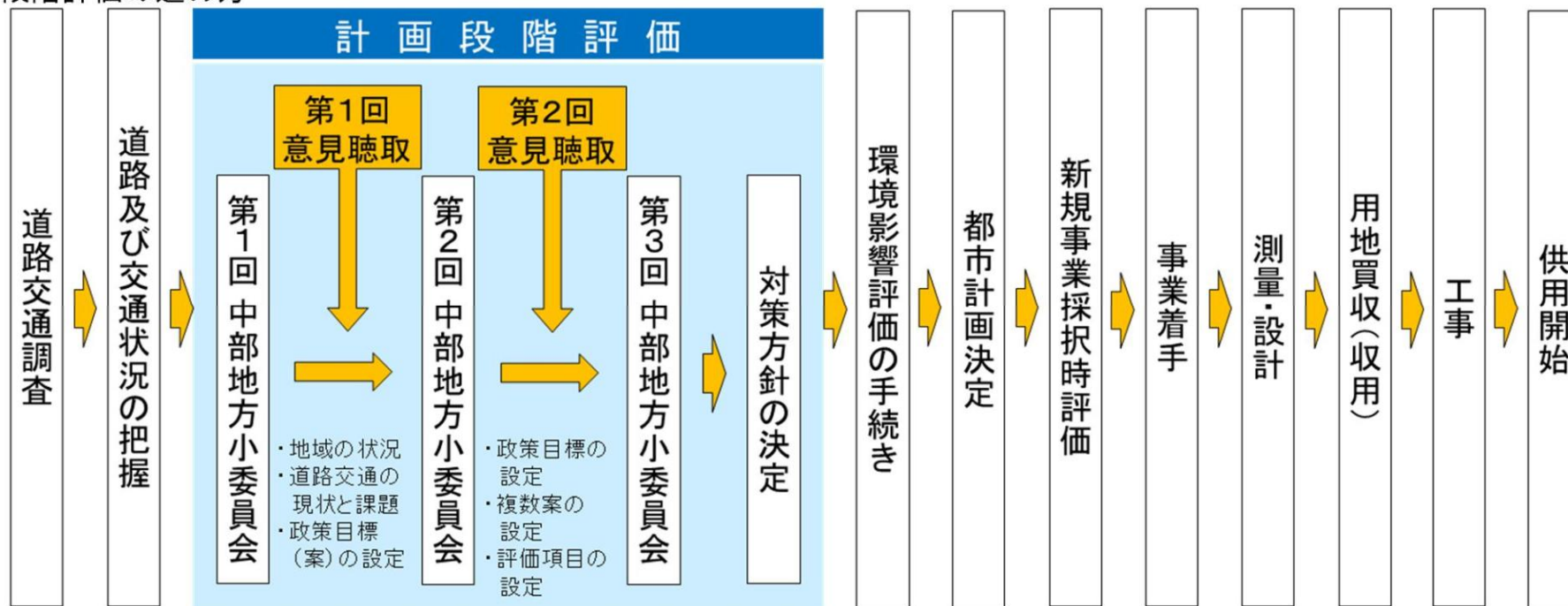


※写真撮影日: R4.8.26(金)18時台

# 6 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

## ○静岡南北道路 長沼立体

### ■計画段階評価の進め方



### ■長沼交差点周辺における交通課題と政策目標(案)

	課題	原因
渋滞 (都市圏)	○静岡県内ワースト上位の渋滞	○交通容量の不足 ○踏切による交通阻害
物流・企業	○物流ネットワークの速達性が低い	○交通容量の不足 ○信号交差点の連坦
安全	○幹線道路・生活道路で多発する交通事故	○交通の集中 ○生活道路への流入
防災	○災害時におけるネットワークの信頼性が低い	○橋梁の老朽化・不安定な構造 ○代替路の不足

#### 政策目標(案)

渋滞緩和による  
地域交通の円滑化

速達性向上による  
産業活性化支援

交通安全の確保

信頼性の高い  
ネットワークの確保

### ■第1回意見聴取



郵送アンケート

オープンハウス



インタビュー調査



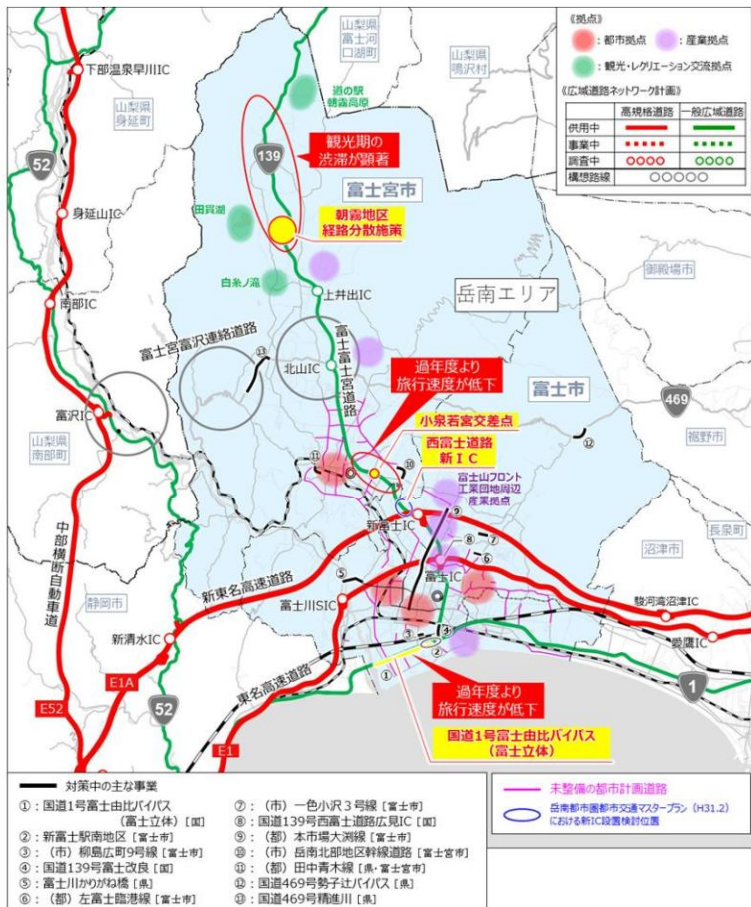
高校生ヒアリング

# 6 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

## ○岳南エリアの交通機能強化

- <sup>がくなん</sup>岳南エリアは、交通・産業・観光面など地域間の結びつき強い中、各市街地の中心部や主要幹線道路で渋滞が発生しており、主要渋滞箇所における渋滞対策の実施・検討が進められてきたものの、渋滞が残る状況
- 令和7年1月24日に第2回岳南エリアWGを<sup>こいずみわかみや</sup>開催し、<sup>にしふじ</sup>小泉若宮交差点の交差点改良の必要性、西富士道路新ICの設置など地域の交通課題や、観光期の渋滞対策の方向性について共有
- 令和7年度以降も、引き続き、岳南エリアWGにて交通課題の分析、対策の検討などを進める

### ■岳南エリアの産業拠点等や道路交通計画の概況



### ■岳南エリアの主要渋滞箇所



### ■第2回岳南エリアWG

- 開催日：令和7年1月24日(金) 15時～17時
- 場所：富士宮市役所
- 議題：
  - ・岳南エリアの現状(道路の使われ方、交通課題等)および国道1号富士由比バイパスの道路構造変更検討
  - ・渋滞対策の検討および岳南地域の開発計画や道路計画の共有
  - ・今後の進め方について

#### 【構成機関】



#### 【議事要旨】

- 岳南エリアの将来道路ネットワークのあり方の検討に向けて、道路の使われ方や現状の交通課題を把握し、関係者間で将来の道路の使われ方や想定される課題を議論。
- さらに、地域が抱える喫緊の交通課題に対しても、ハード・ソフトを含めた渋滞対策の方向性について、関係者間で共有。



第2回岳南エリアWG(R7.1.24)

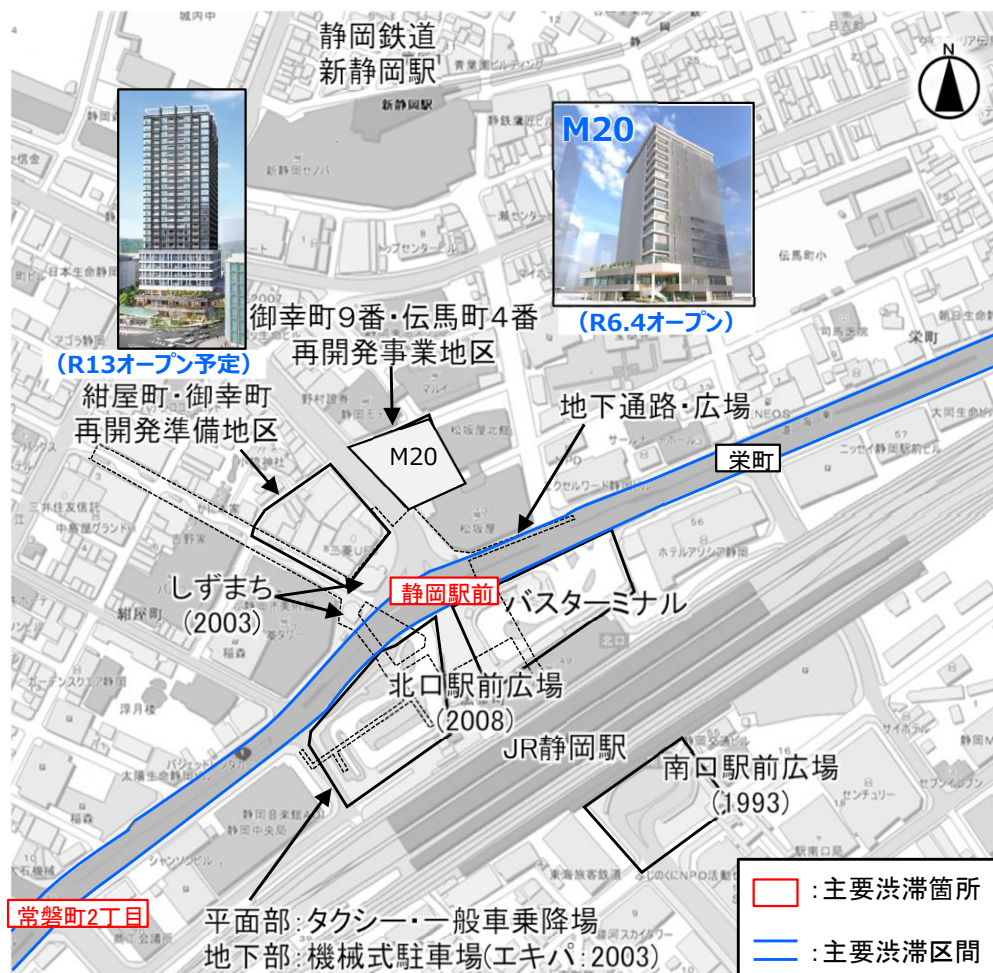
出典：(NW) R5.4.1時点中部ブロック広域道路ネットワーク計画図(国交省HP)《拠点等》第三次富士市都市計画マスタープラン(案)(R5.7)、富士宮市都市計画マスタープラン(案)(R2.3)《都市計画道路》富士宮市都市計画道路整備プログラム(R2.4)、岳南広域都市道路計画の変更について(富士市)(R4.10)

# 6 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

## ○静岡駅周辺

- 静岡市の中心市街地であり、鉄道、バス、タクシーや自転車などの様々な交通モードが集中する静岡駅周辺において、交通結節点として駅前空間のあり方を検討する時期を向かえていることを踏まえつつ、交通拠点としての機能強化・再編の必要性等の検討を進めている
- 令和7年度は交通拠点の機能強化・再編にあたって短・中・長期での具体的な方針を整理し、利便性・回遊性の向上など静岡市の策定した「静岡都心地区まちなか再生指針」等に合わせて検討

### ■静岡駅周辺の施設等整備状況



### ■周辺事業者ヒアリング等からの課題

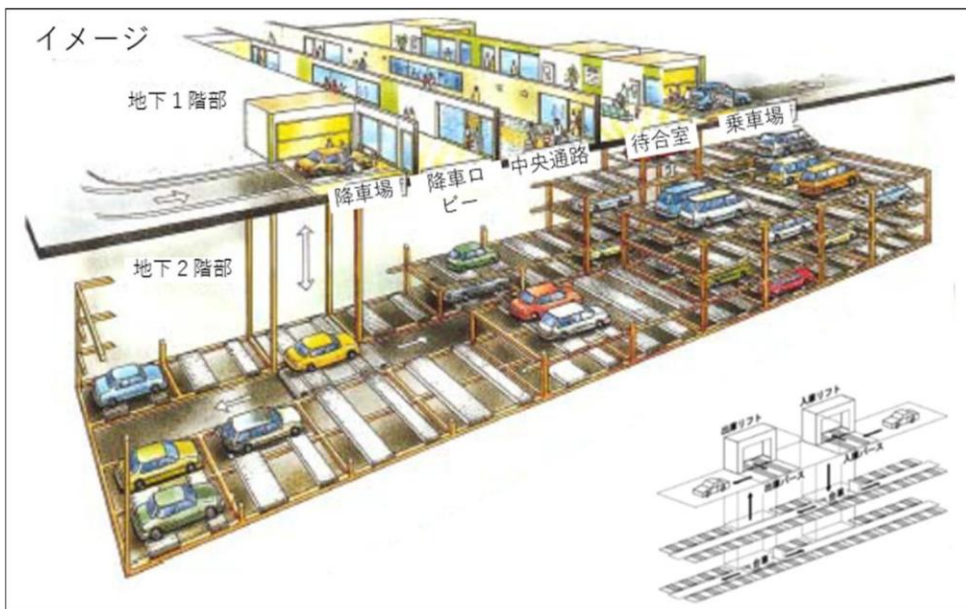
- 1. 交通拠点としての機能不足**
  - MaaS車両の受入空間がない
  - 路線バスの乗降場が点在
  - 高速バス、観光バスの受入空間が不足
  - 交通ターミナルとしての待合空間がない
  - 自転車施策の展開空間がない
- 2. 静岡駅北口の賑わい不足**
  - 歩行者が地下道を利用するため、賑わいが不足
  - 民間の再開発への対応が必要
- 3. 施設の老朽化等**
  - 機械式駐車場の劣化や地下水の漏水など、施設が老朽化
  - 地下通路上や地下通路と接続する店舗入口に段差が存在



## 6 管内の将来的なネットワーク機能強化

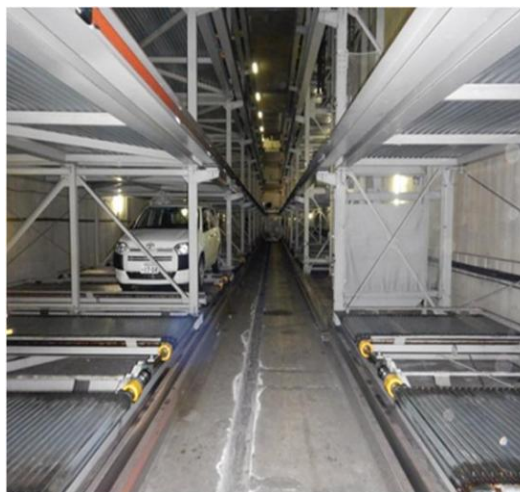
### ○静岡駅前地下駐車場(エキパ)

○静岡駅前地下駐車場は、JR静岡駅周辺の慢性的な駐車場不足の解消、道路交通の円滑化等を図ることを目的として、静岡市と共同で静岡駅北口地下駐車場と一体的に整備し、「エキパ」として平成15年10月から運用。



#### 【概要】

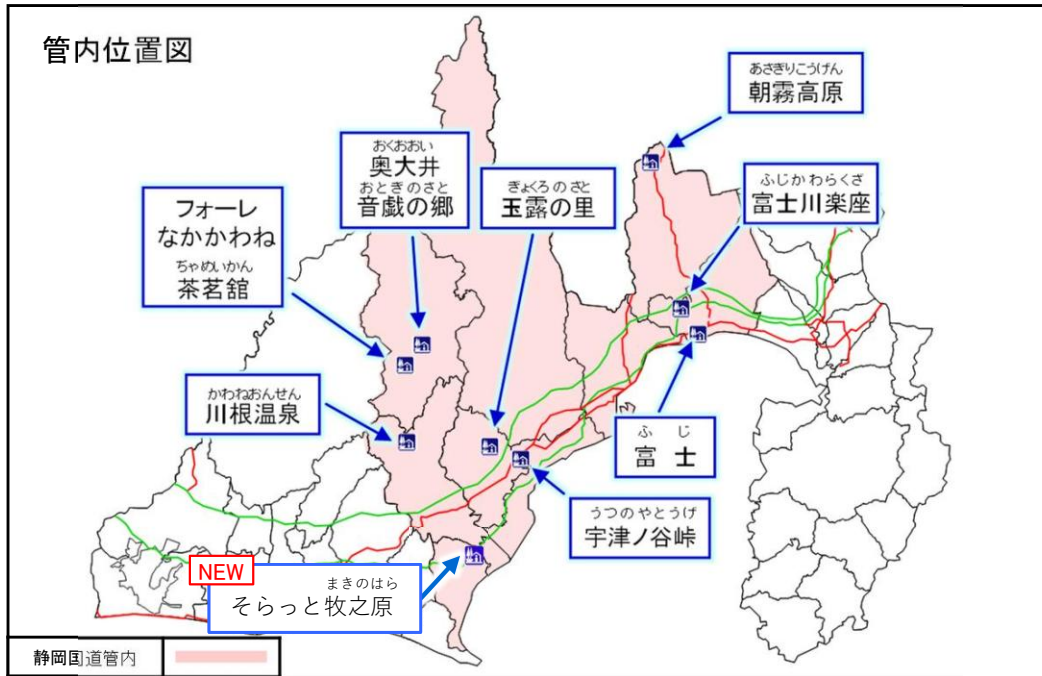
駐車型式	機械式駐車場
駐車台数	400台 (内訳) 静岡市：A・Bバース (200台) 静岡国道事務所：C・Dバース (200台)
駐車可能サイズ	車長 5.3m 車幅 1.9m 車高 2.0m 以下
構造	鉄筋コンクリート造 地上1階、地下1階、地下2階 (4層)
建築床面積	(延) 約10,000m <sup>2</sup>



# 7 「道の駅」の機能強化

○「道の駅」は道路利用者に向けた休憩機能、交通情報や地域情報の発信機能、地域活性化のための交流機能等を提供する施設であり、地方創生・観光を加速する拠点に向けた機能強化を実施中

○令和7年2月現在、全国で1,230駅、管内で9駅が登録



国道1号宇津ノ谷峠(静岡側)



国道139号朝霧高原



国道1号宇津ノ谷峠(藤枝側)



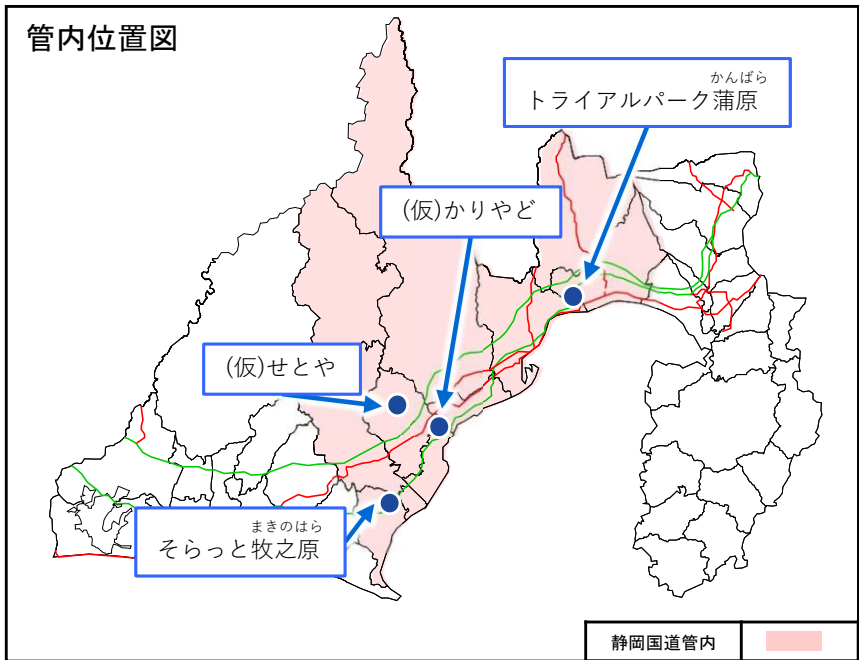
国道1号富士

路線名	駅名	設置者	管理運営		駐車マス			登録年月日	整備形式
			管理運営者	契約方法	普通車	大型車	身障者用		
国道1号	ふじ 富士	富士市	富士川まちづくり(株)	指定管理	71	21	2	H5.4.22	一体型
国道1号	うつのやとうげ 宇津ノ谷峠	静岡市	(株)天神屋	委託	46	27	4	H10.4.17	一体型
		藤枝市	(有)ホームタウンよこぞえ	委託	40	5	2		
国道362号	フォーレなかかわね茶茗館 <small>ちゃめいかん</small>	川根本町	川根本町	直営	36	3	2	H10.4.17	単独型
主要地方道川根寸又峡線	おくおおいおとぎのさと 奥大井音戯の郷	川根本町	川根本町	直営	85	3	3	H10.4.17	単独型
国道139号	あさぎりこうげん 朝霧高原	富士宮市	(株)富士山	委託	94	12	4	H11.8.27	一体型
主要地方道藤枝天竜線	かわねおんせん 川根温泉	島田市	(株)川根町温泉	指定管理	78	4	2	H11.8.27	一体型
主要地方道富士川身延線	ふじかわらくさ 富士川楽座	富士市	富士川まちづくり(株)	指定管理	257	9	4	H11.8.27	一体型
(県)静岡朝比奈藤枝線	きよくのさと 玉露の里	藤枝市	(株)静鉄リテイリング	指定管理	91	2	1	H11.8.27	一体型
(主)吉田大東線	まきのほら <b>NEW</b> そらっと牧之原	牧之原市	(株)TTC	指定管理	71	6	2	R7.1.31	単独型

# 7 事業中・計画中・構想中の「道の駅」等

○管内の下記4カ所で、地域活性化の拠点として道の駅の整備や検討が各自治体にて進められている

○国として道の駅の登録申請に向けた支援を実施するとともに、地域拠点と連携した防災・休憩機能強化を検討



道の駅「そらっと牧之原」



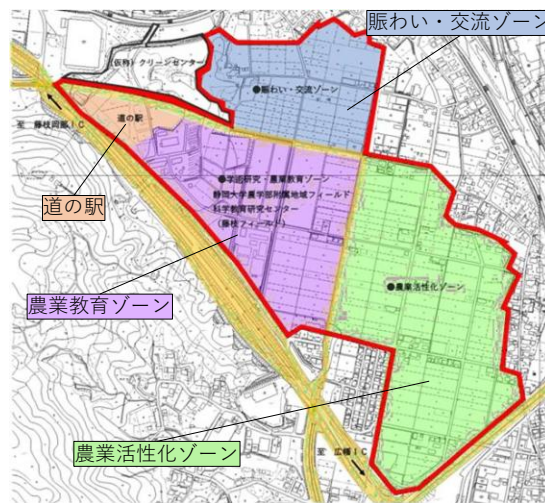
提供：牧之原市（R7.2月時点）

道の駅「(仮)せとや」



出典：藤枝市HP

道の駅「(仮)かりやど」



出典：道の駅（仮）かりやど基本構想

蒲原地区で地方創生に取り組む新たな拠点  
トライアルパーク蒲原



出典：静岡市HP

駅名	設置者	状況	備考
(仮)せとや	藤枝市	事業中	令和3年3月基本構想策定
そらっと牧之原	牧之原市	事業中	令和7年7月開駅予定
(仮)かりやど	藤枝市	計画中	令和5年3月基本構想策定
地域拠点 (トライアルパーク蒲原) との連携	静岡市	—	—

# 7 「道の駅」の機能強化

○「道の駅」第3ステージのコンセプトに基づき、直轄一体型「道の駅」における広域的な防災機能、地域の防災拠点としての運用にあたり、防災倉庫新設などの防災機能の強化、子育て応援等を推進

路線名	駅名	設置者	防災機能					子育て応援			整備形式
			地域防災計画への位置づけ	BCPの策定	大規模災害時の協定	主な防災施設	防災訓練	授乳コーナー	屋根付き優先駐車スペース	おむつのばら売り	
国道1号	ふじ富士	富士市	一時滞在施設	有	—	非常用発電機 給水設備 (R7整備予定)	検討中	有	有	対応	一体型 (静岡国道)
国道1号	うつのやとうげ 宇津ノ谷峠	静岡市	一次避難地 (静岡市)※	有	有	非常用発電機 給水設備	実施	有	有	対応	一体型 (静岡国道)
		藤枝市	緊急避難場所 (藤枝市)※	有	—	非常用発電機 給水設備	実施	有	—	対応	
国道139号	あさぎりこうげん 朝霧高原	富士宮市	防災拠点施設	有	有	非常用発電機 給水設備 (R7整備予定)	実施	有	有	対応	一体型 (静岡国道)

※静岡県の地域防災計画では、静岡市側・藤枝市側共に「広域的な防災拠点」「地域の防災拠点」として位置づけられている

## 防災機能強化の取組

◆非常用発電機（道の駅「宇津ノ谷峠」）  
災害時の駐車場やトイレの照明用の電力、  
情報提供施設の電力を確保する。



◆給水設備（道の駅「宇津ノ谷峠」）  
災害時には、手洗い水やトイレ洗浄水として  
利用する。



◆BCP策定・防災訓練の実施  
（道の駅「朝霧高原」）  
災害時に行うべき行動や、災害時に備  
えて平常時に行うべき行動をあらかじめ  
整理し取り決めておく、BCP(Business  
Continuity Plan = 事業継続計画)  
の策定、及びBCPに基づく防災訓練の  
実施など、災害時の機能確保に向けた  
準備を着実に実施。



写真：R7.2月撮影

◆災害用トイレ（道の駅「朝霧高原」）  
災害時には、マンホールの上部に災害用トイレを  
設置し、屋外トイレを確保する。



◆救助部隊の拠点  
（道の駅「朝霧高原」）  
災害時には、復旧車両や各種災  
害対策車両が集結する拠点となる。



写真：R7.2月撮影

## 子育て応援の取組

◆24時間利用可能なベビーコーナー  
（道の駅「宇津ノ谷峠」藤枝側）



◆おむつのばら売り等の自動販売機  
（道の駅「宇津ノ谷峠」藤枝側）



# 7 「道の駅」の機能強化

## ○道の駅「富士」

- 道の駅「富士」は、道路利用者等の一時滞在施設としての防災機能強化や休憩機能強化を目的に、駐車場(上り線)の拡張、給水施設、非常用自家発電施設等の設置が必要
- 防災機能強化は、令和6年度に給水施設、非常用自家発電施設の詳細設計を実施。
- 休憩機能強化は、令和6年度に地元説明会を実施。引き続き地元との協議、周辺調査を行い、検討を進めていく。

### 道の駅「富士」



### 防災機能の強化

道の駅「富士」が、富士市地域防災計画において、災害時における道路利用者等の一時滞在施設に位置づけられたことを踏まえ、必要な防災施設を整備  
防災施設: 給水施設、非常用自家発電施設等

非常用自家発電施設イメージ



給水施設イメージ

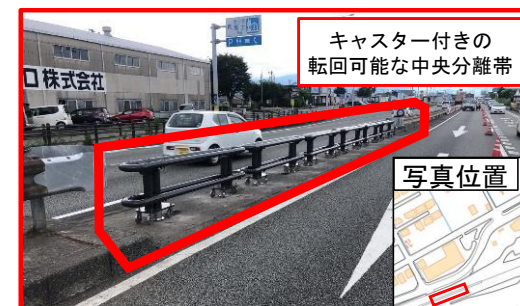


リニューアル5周年 展望テラスのモニュメント



中央分離帯の改良

道の駅「富士」前面の国道1号に転回可能な中央分離帯を導入(R3.8完成)



キャスター付きの転回可能な中央分離帯



# 7 「道の駅」の機能強化

## ○道の駅「宇津ノ谷峠」

○道の駅「宇津ノ谷峠」は、道路利用者等の一時避難地（静岡市）および緊急避難場所（藤枝市）としての防災機能強化や休憩機能強化を目的に、防災施設の整備や画像解析カメラ・予約制駐車場を運用中

○令和7年度は、防災施設を活用した訓練やBCP更新等により災害時の実行性向上を図る

### ■道の駅「宇津ノ谷峠」



### ■防災施設の整備



### ■防災施設を活用した防災訓練

- 日 時：令和7年2月27日（木）9:30～11:00、13:30～15:00
- 場 所：道の駅「宇津ノ谷峠（静岡市側・藤枝市側）」
- 参 加：静岡国道事務所、静岡市、藤枝市  
(株)天神屋、(有)ホームタウンよこぞえ



ベンチタイプトイレ設置訓練



衛星携帯電話操作訓練

### ■道路協力団体との連携による長時間駐車対策

道路協力団体の第2号業務として、休憩機能及び「道の駅」周辺地域の散策のための長時間駐車可能スペースを提供。

※道路協力団体が設置



# 7 「道の駅」の機能強化

## ○道の駅「朝霧高原」

- 道の駅「朝霧高原」は令和3年に防災道の駅に指定され、南海トラフ巨大地震発生時の広域応援部隊の進出、広域物資輸送拠点(代替施設)として防災機能の強化において、地元自治体等と連携を行っている
- 画像解析カメラを設置しており、駐車場の有効活用のための情報の利活用、提供方法について検討
- 令和6年度は非常用自家発電施設・給水施設の詳細設計を実施。令和7年度は非常用自家発電施設・給水施設の工事に着手

### ■防災訓練



(現地対策本部車を展開しての運用訓練)

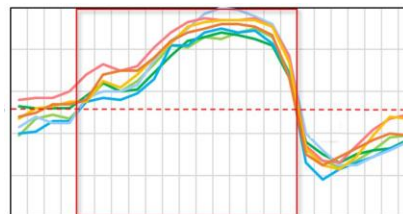


写真:R7.2月撮影

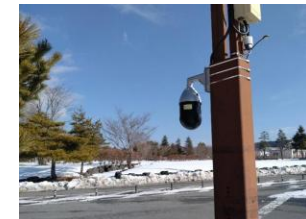


画像解析カメラで得られる情報(駐車場利用状況の可視化)

駐車場(休日)  
縦軸: 満空率  
横軸: 時間(24時間)



画像解析カメラ



# 8 道路管理 ～安心して道路を利用いただくために～

## ○日常管理

- 静岡県富士市から島田市までの国道1号及び静岡県内の52号、139号の道路を管理
- 安全・安心な道路サービスの確保に向け、道路巡回、緊急作業、除草、剪定、路面清掃、照明・設備の保守など日常管理を実施



【道路巡回】



【緊急作業 落下物回収】



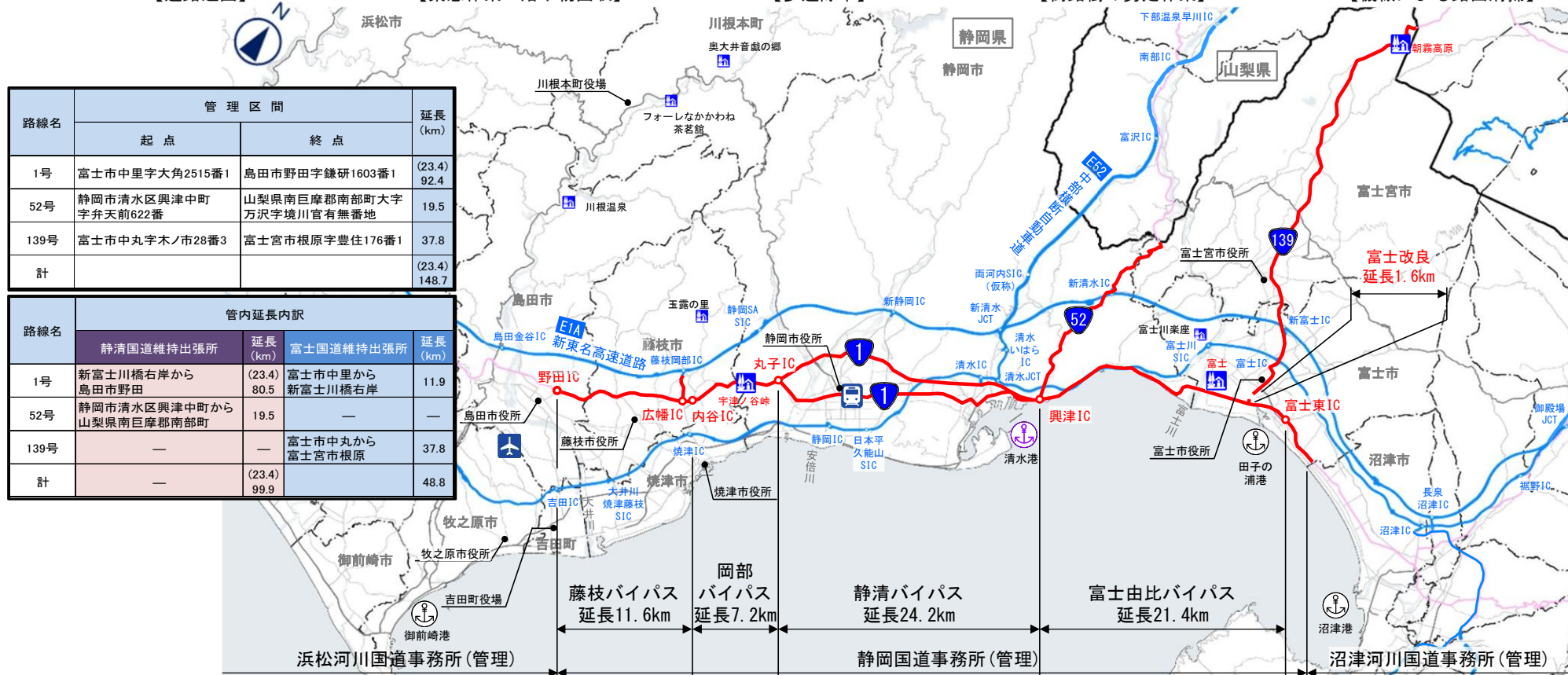
【歩道除草】



【街路樹の剪定作業】



【機械による路面清掃】



# 8 道路管理

## ○道路管理車両

○日常の道路管理、冬期の道路管理や災害対応時の車両を保有・運用

- ・道路巡回車両（パトロールカー）・排水管清掃車・路面清掃車・散水車・凍結防止剤散布車プラウ付
- ・除雪グレーダー・対策本部車・照明車・衛星通信車



静岡国道事務所が保有する  
道路管理車両



## 8 道路管理

### ○道路情報センター

○道路巡回からの情報に加え、道路監視用カメラ等で24時間365日、常に道路情報を収集し、道路情報板等により速やかな情報発信をすることで、的確な道路管理を実現

○AI技術を活用した画像解析技術を用いた交通障害検知システムの導入を推進

#### 道路情報センターの主な設備

道路監視モニター

(県警本部、静岡市との相互提供)

カメラ制御端末

交通量観測装置端末

道路情報板制御端末 等

#### 道路情報センターの主な業務

○情報収集

道路巡回

道路監視用(CCTV)カメラ(253基)

雨量計(4箇所)、凍結検知装置(2箇所)

関係機関や道路緊急ダイヤル等からの情報提供 等

○情報提供・発信

道路情報板(42基)、津波情報板(7基)

ラジオ再放送設備(9箇所)

公式X(旧Twitter)(@milt\_shizukoku)

道路情報提供システム(<https://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/roadinfo/>)

道路交通情報センターへの情報提供 等



#### 道路AI検知システムの検出事例



停止車両による滞留発生を検出状況  
(国道1号藤枝バイパス原トンネル)

# 8 道路管理

## ○道路構造物のメンテナンス

○道路利用者の安全・安心な交通確保のため、道路構造物の点検→診断→措置→記録というメンテナンスサイクルを適切に回すことが重要

○道路構造物の点検は、5年に1度の頻度で実施し、令和6年度より3巡目の点検を開始

○過去2巡の点検結果より、損傷の傾向や特徴から効率的・効果的な措置を実施し、予防保全への転換を推進

### ■定期点検の実施項目

橋梁点検



橋梁点検車による点検

トンネル点検



リフト車による打音検査

特定道路土工点検



構造物点検



### ■補修の主な内容



支承補修



断面補修

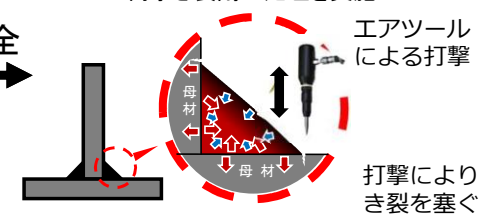


予防保全

当て板補修



初期に発生するき裂について、  
衝撃き裂閉口処理を実施



# 8 道路管理

## ○塩害への対応

○静岡国道事務所管内は、富士由比バイパスの海岸沿岸部において複数の橋梁が位置しており、海からの飛来塩分によりコンクリート桁に剥離・鉄筋露出やうきが繰り返し発生

- ・令和6年度までに塩害橋梁に対して塩分濃度調査及び既往の調査結果をもとに健全度評価を実施、最も損傷リスクが高いと判断された「由比川橋(上り)」の載荷試験を実施して耐荷性能に問題ないことを確認

- ・令和7年度は、次に高リスクと判断された「由比川橋(下り)」を対象にPC鋼材の非破壊検査を実施し、今後の対応方針を検討予定



塩害橋梁の位置図

【由比川橋】主桁の剥離・鉄筋露出



【由比川橋】主桁のうき



【載荷試験】実施状況



【PC鋼材非破壊検査】イメージ

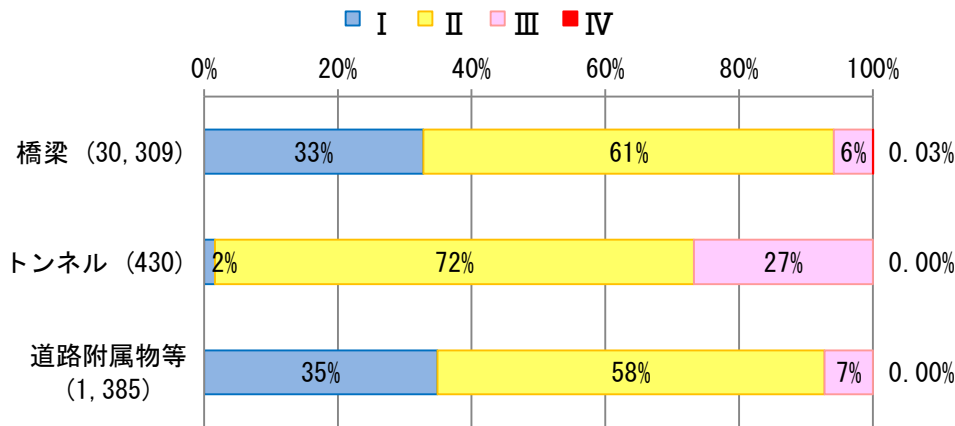


# 8 道路管理

## ○道路メンテナンスの推進

- 静岡県内においては、各道路管理者が管理する橋梁のうち、建設後50年を経過する橋梁は約5割。高度経済成長期に建設された橋梁が多く、20年後には高齢化した橋梁の割合は約8割となる見込み。
- 1巡目点検の結果、県内市町では次回点検まで(5年以内)に修繕等の措置を講ずべき橋梁の14%が未着手。令和7年度は未着手の理由を踏まえた支援策を検討し、道路メンテナンス会議での自治体支援を推進。
- 自治体への技術支援として静岡県道路メンテナンス会議にて点検ミニ講習会等を実施。

2巡目点検(2019~2023年度)の判定区分割合(県内の全道路管理者)



※()内は、2019~2023年度に点検を実施した施設の合計  
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある

## ■道路メンテナンス会議における技術的サポートの内容

- 道路管理者の技術力向上のため点検ミニ講習会、橋梁補修技術セミナーの開催
- 自治体同士での意見交換や新技術活用事例等の共有のため、実務担当者会議の開催
- 道路施設の現状と定期的な点検・修繕の必要性について住民の理解を促進するパネル展の開催
- 応募が少ない土木系学生採用に向けた採用情報の合同発信

1巡目点検(2014~2018年度)の修繕実施率(県内の橋梁)

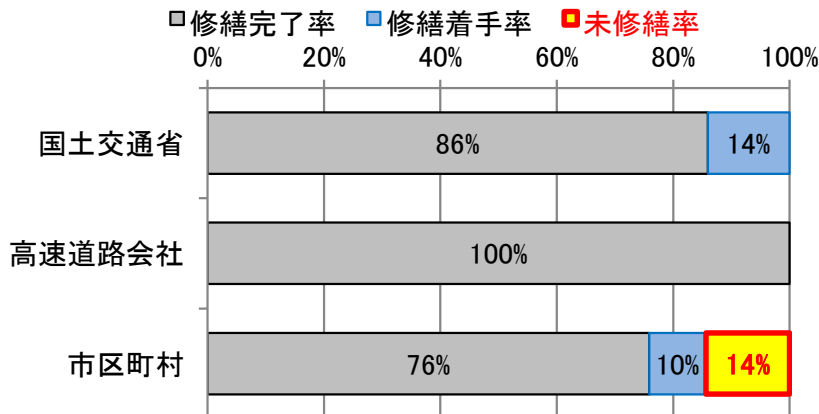


写真: R6.11撮影  
パネル展の開催



写真: R6.8撮影  
点検ミニ講習会の開催

# 8 道路管理

## ○特殊車両

○ 特殊車両の過積載での通行は、橋梁などの道路施設に損傷を及ぼし、また交通の安全に支障を及ぼすため、「現地取締基地での取締り」と「自動計測装置による取締り」の実施により、特殊車両の通行適正化を推進。

### ■現地取締基地での取締り

○道路に設置した現地取締基地において、重量・寸法・高さの計測、及び許可証の確認等を実施し、違反車両に対しては、「指導警告書」又は「措置命令書」を発出し、是正を求めます。

### ■取締りの様子

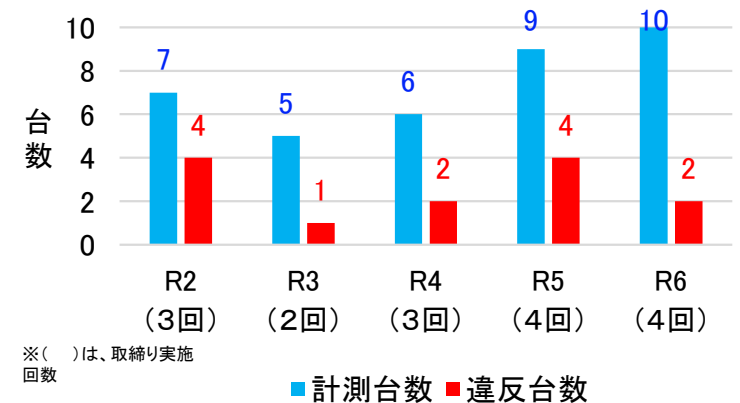


### ■X(旧Twitter)での広報

国土交通省 静岡国道事務所 @mit\_shizukoku · 2024年6月25日  
6月20日、#国道1号 #藤枝バイパスにて、#藤枝警察署のご協力のもと#特殊車両の指導取締を実施しました。車両の寸法、重量が規定を超える場合は特殊車両通行申請が必要となり、通行中は許可証の携帯が義務化されています。皆様のご理解とご協力をお願いします。#特車#大型車両通行適正化



### ■取締りの状況



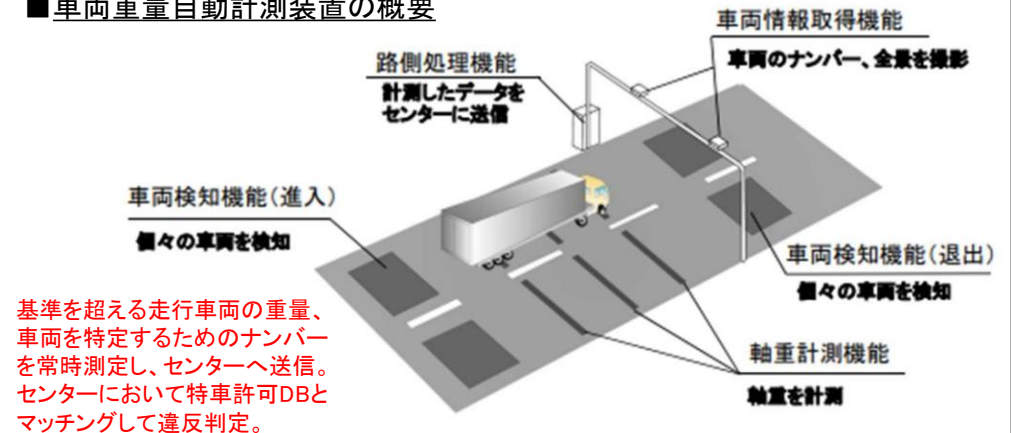
### ■自動計測装置による取締り

○ 車両重量自動計測装置で計測したデータと特殊車両通行許可書データをオンラインで照合し、その計測結果に基づき、走行違反を繰り返す事業者に対しては、「指導警告書」を発出し、また対面により「是正指導書」を交付し、是正を求めます。

### ■車両重量自動計測装置の設置



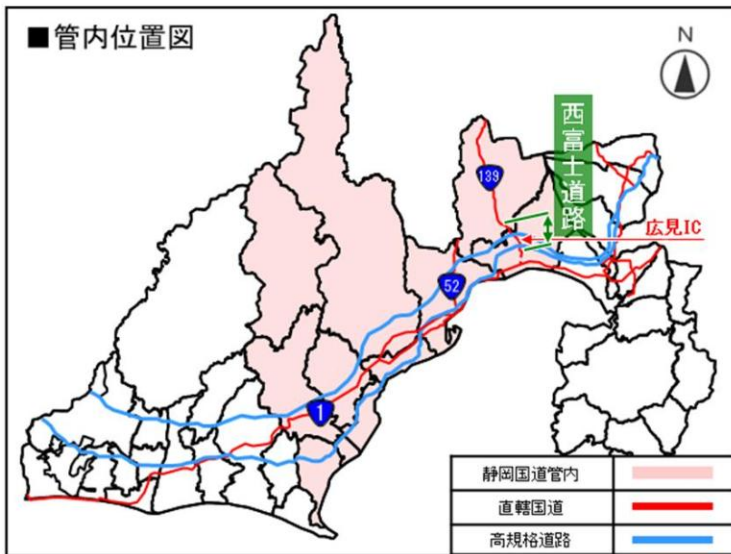
### ■車両重量自動計測装置の概要



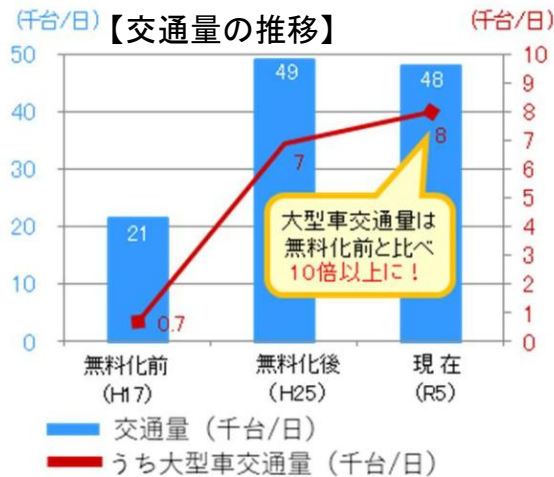
# 7 道路管理

## ○静岡国道管内舗裝修繕

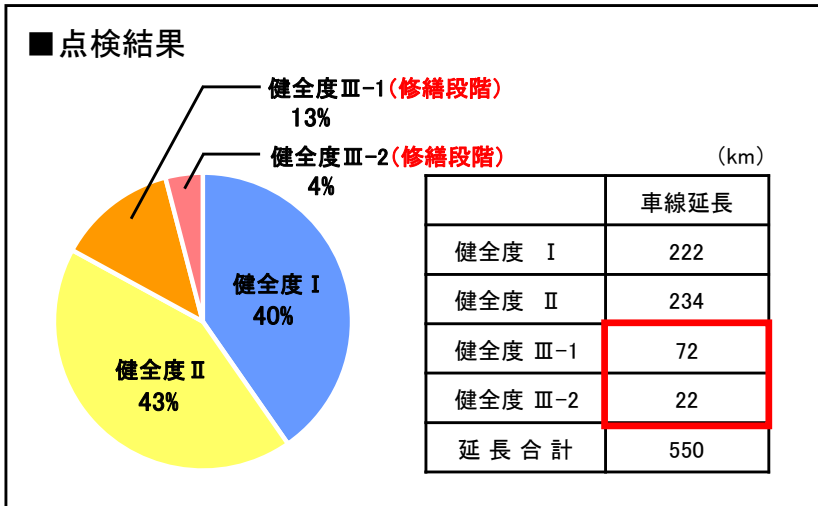
- 道路利用者の安全・安心な交通確保のため、舗装点検要領に基づくメンテナンスサイクルの実施が重要
- 静岡国道の管理延長約550km(上下線、車線別延長)に対し、約94km(約20%)が修繕段階と判定
- 平成24年4月の無料化、新東名の開通以降、交通量が大幅に増加し舗装の劣化が進行している西富士道路においては、昼夜連続規制による集中工事を実施し、作業日数の短縮、コストの削減を推進



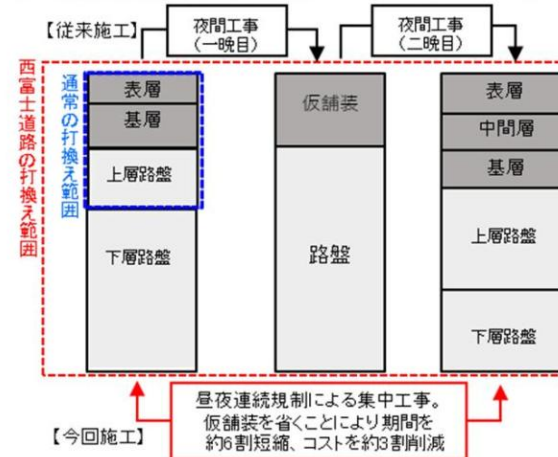
### ■国道139号西富士道路舗裝修繕



### ●舗装工事施工前(応急維持済み)



### 【昼夜連続規制による集中工事のイメージ】



### ●舗装工事施工後



# 8 道路管理

## ○管内の各規制区間等

○静岡国道事務所管内には、事前通行規制区間(雨量規制区間)・越波・強風による規制区間・降雪時、予防的に通行止めする区間のほか、南海トラフ地震・富士山噴火・浜岡原子力発電所圏域<sup>はまおか</sup>に関わるエリアがある。

### ■事前通行規制区間(雨量規制区間)



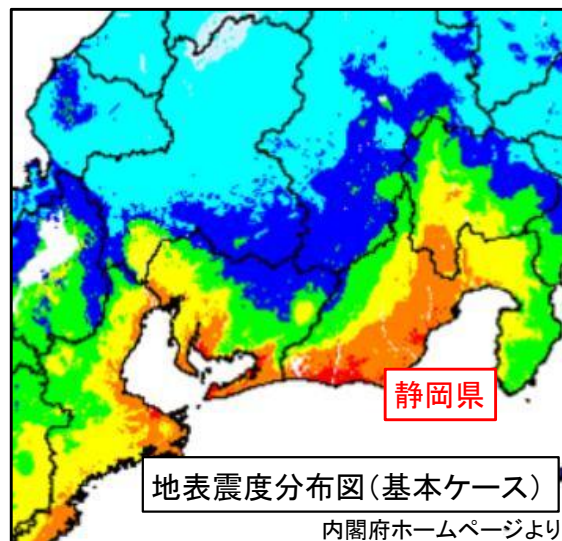
### ■越波・強風による規制区間



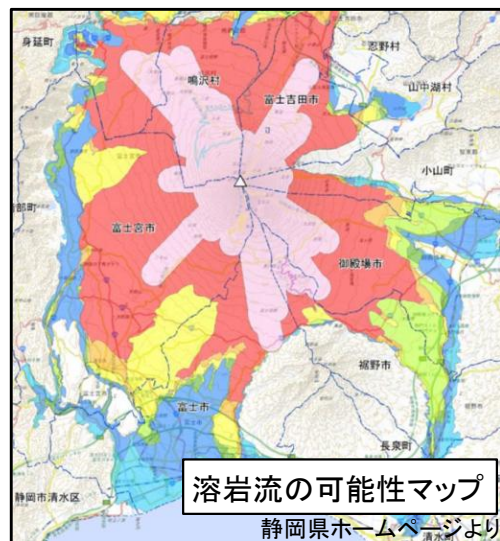
### ■降雪時、予防的に通行止めする区間



### ■南海トラフ地震



### ■富士山噴火



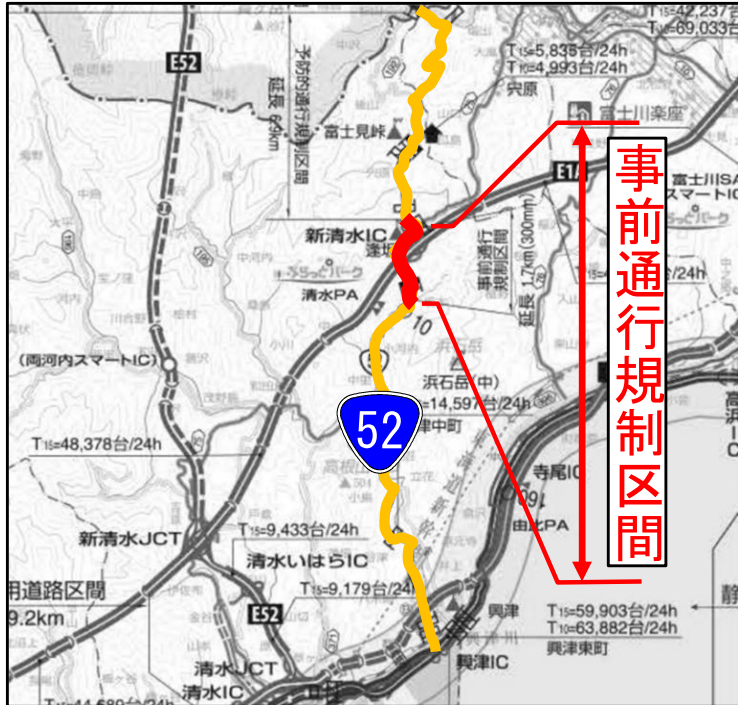
### ■浜岡原子力発電所圏域



# 9 災害への備え

## ○事前通行規制区間(雨量規制区間)における対策

○国道52号で大雨・台風時に土砂崩れや落石等の恐れがある箇所について、事前通行規制区間(雨量規制区間)を定め、基準雨量(400mm)に達する場合は通行止めとし、道路利用者の安全を確保。



### ■近年の通行止め実績

年 月 日	雨 量	通行止め時間
令和元年 10月 12日	345mm	6時間20分
令和3年 7月 3日	500mm	11時間30分
令和4年 9月 24日	407mm	17時間5分
令和5年 6月 2日	408mm	6時間35分

※

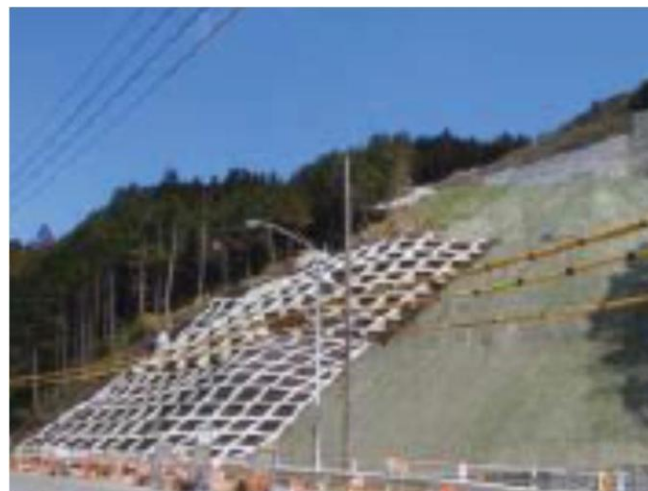
### ■事前通行規制区間

国道52号

延長: 1.7km

基準雨量: 400mm

※法面防災工事等の実施により、令和5年4月に基準雨量をそれまでの300mmから400mmへ緩和



平成26年台風18号による被災箇所の復旧  
(平成28年3月完了)



通行止め訓練

# 9 災害への備え

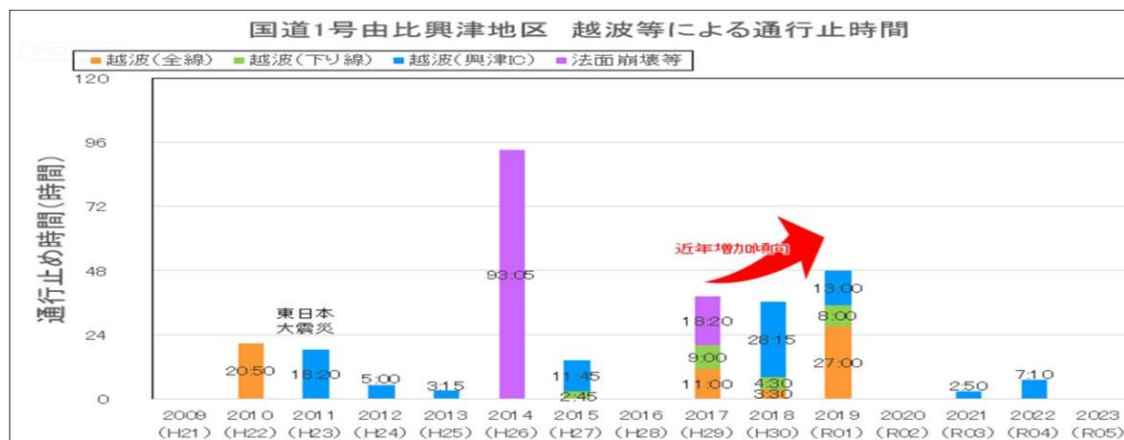
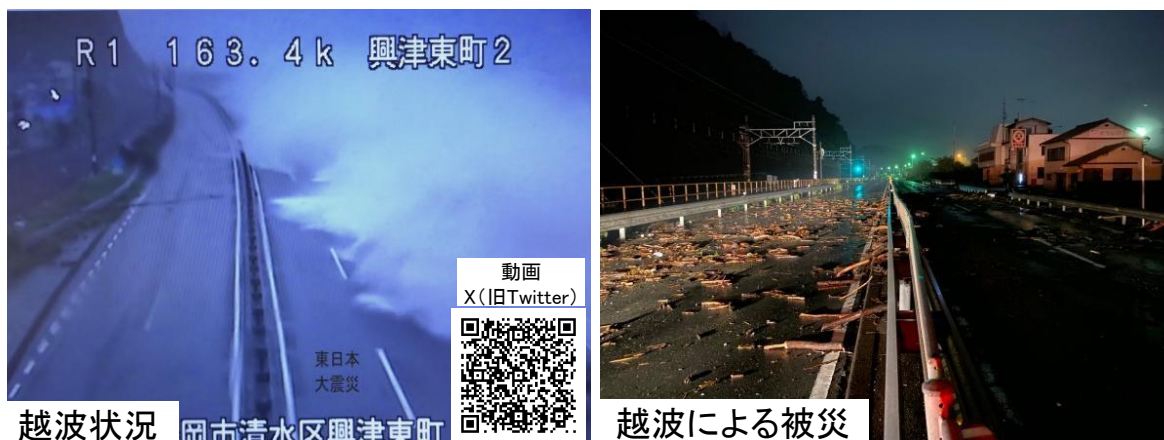
## ○越波・強風への対応

- 国道1号富士由比バイパス及び静清バイパスの駿河湾に面している区間では、台風等に伴う越波や飛散物、強風による車両横転の危険から道路利用者を守るため、通行規制を実施。
- 令和元年10月の台風19号上陸時には、越波への対応として新富士川橋～清見寺IC間を、損傷した防護柵の応急復旧や道路清掃の時間を含め、上り27時間、下り35時間に及ぶ通行止めを実施。
- 平成30年9月の台風24号接近時には、強風及び越波への対応として新富士川橋～清見寺IC間を、上り3時間半、下り8時間に及ぶ通行止めを実施。

### ■越波・強風による規制区間



### ■越波による被害事例(令和元年10月 台風19号)



# 9 災害への備え

## ○越波に備えた取り組み

- 防災・減災、国土強靱化の取り組みの中で、越波が想定される区間(由比・興津地区)約3.1kmにおいて、規制時間短縮のため、越波に伴う飛散物の打ち上げ防止する越波飛散防止柵を整備。
- 迅速な通行規制の実施及び省人化のため、遠隔操作可能な遮断機を整備(令和6年3月に興津IC、清見寺ICに設置完了、令和7年度に蒲原西ICに設置検討)。状況に合わせた適時規制や規制時間の短縮を図る運用方法を検討。

### ■越波対策の整備状況

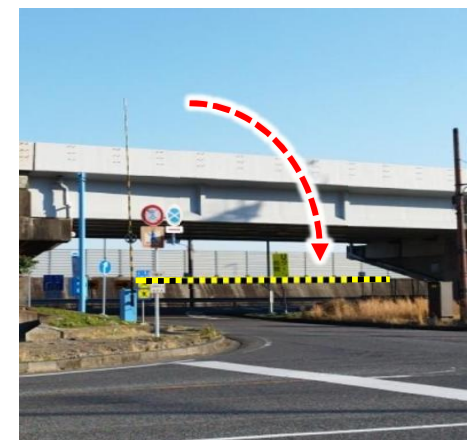


【興津ICの遮断機】

CCTV



通常時



通行規制時

# 9 災害への備え

## ○雪氷への対応

- 積雪による交通障害や交通事故を未然に防ぐため、雪氷予測の取得や、積雪深計の設置により降雪見通しを確認し、適切なタイミングで凍結防止剤の散布、通行車両のタイヤチェック、除雪作業等を実施。
- 大雪時の道路交通確保対策について、これまでの「出来るだけ止めない」方針から「人命最優先に車両滞留を徹底的に回避」へと転換。大雪が見込まれる場合は、道路を早めに通行止めして集中的な除雪作業を実施することで、通行止め時間の短縮による社会的影響を最小化。
- 道路管理者(国・県・政令市・NEXCO)・交通管理者・気象台・防災機関で構成する「山梨静岡県境地域道路災害対策連絡協議会(通称やましず)」で連携し、情報共有及び共同記者発表、X(旧Twitter)で情報発信を実施。

### ■雪氷対応の流れ



①凍結防止剤散布



②除雪



③タイヤチェック



④通行止め



【降雪時に予防的に通行止めを行う区間】



【大雪時における出控えの周知】

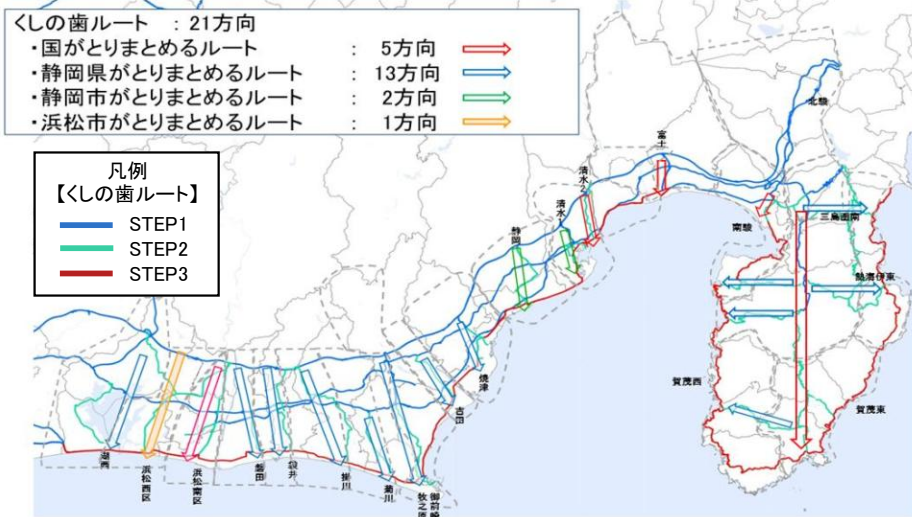


【山梨県境 積雪深計(仮設)による観測】  
※令和7年度以降、本設置を計画中

# 9 災害への備え

## ○南海トラフ巨大地震に対する備え

- 発災時に中部版「くしの歯作戦」(平成24策定・更新)が確実に『機能する』ため、関連機関との訓練等により検証。
- 中部版「くしの歯作戦」について、令和6年能登半島地震の結果を踏まえたブラッシュアップ等を実施。



### 【令和6年能登半島地震を踏まえた「中部版くしの歯作戦」の見直し】

- 斜面崩落や橋梁段差の見直し、トンネル崩落の追加など能登半島地震の結果を踏まえて被害想定を見直し。
- 空路・海路からの救急救命活動・物資輸送等が必要な箇所を明確化。



### R6.10.10 くしの歯作戦初動対応訓練



幹線協(※)の訓練に参加し、中部版「くしの歯作戦」における初動、迅速な情報収集・情報伝達の検証を実施。現場巡回の災害協定業者と情報共有を実施。

※中部地方幹線道路協議会  
道路管理防災・震災対策検討分科会

### R6.11.8 静岡市建設局防災訓練



静岡市防災訓練(道路啓開訓練)にリエゾンとして参加し、災害対応「静岡スタイル」との連携を検証。市の被災状況を「くしの歯防災システム」へ登録し、静岡から被災箇所の連絡を実施。

# 9 災害への備え

## ○ TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の活動

○TEC-FORCEは、大規模な自然災害等に際し、被災自治体が行う被災状況の把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施。

至近5年の活動実績

	発災年月	災害名	主たる活動場所	派遣期間	静岡からの延べ人数（実数）
1	令和2年7月	令和2年7月豪雨災害	岐阜県下呂市	令和2年7月10日～16日	28名（4名）
2	令和3年1月	令和3年1月豪雪災害	富山県南砺市	令和3年1月10日～11日	2名（1名）
3	令和3年7月	令和3年7月熱海市伊豆山地区土砂災害	静岡県熱海市	令和3年7月11日～14日	4名（1名）
4	令和4年9月	令和4年台風15号災害	静岡市清水区・葵区	令和4年9月24日～12月28日	413名（38名）
5	令和6年1月	令和6年能登半島地震	石川県珠洲市・七尾市	令和6年1月8日～2月2日	101名（18名）
6	令和6年7月	令和6年7月豪雨災害	秋田県由利本荘市	令和6年8月5日～12日	32名（4名）

令和6年能登半島地震では、中部地方整備局の被災状況調査（道路班）の一員として活動

被災箇所調査（道路班）



法面崩落の調査



滑動による亀裂の調査



他班とともに七尾市長に調査報告

照明車操作支援（建設業協会）



災害協定に基づく清水建設業協会からの派遣

令和6年7月豪雨では、中部地方整備局の被災状況調査（道路班）の一員として活動

被災箇所調査（道路班）



土砂流出の調査①



土砂流出の調査②



法面崩落の調査



東北地整から由利本荘市へ調査報告  
（中部地整もwebで参加）

# 9 災害への備え

## ○防災点検・対策の推進

○豪雨・地震等による災害を防止するため、道路法面の安定性等について詳細な点検を実施

○点検の結果、対策が必要な箇所については、危険度に応じ必要な工事を実施

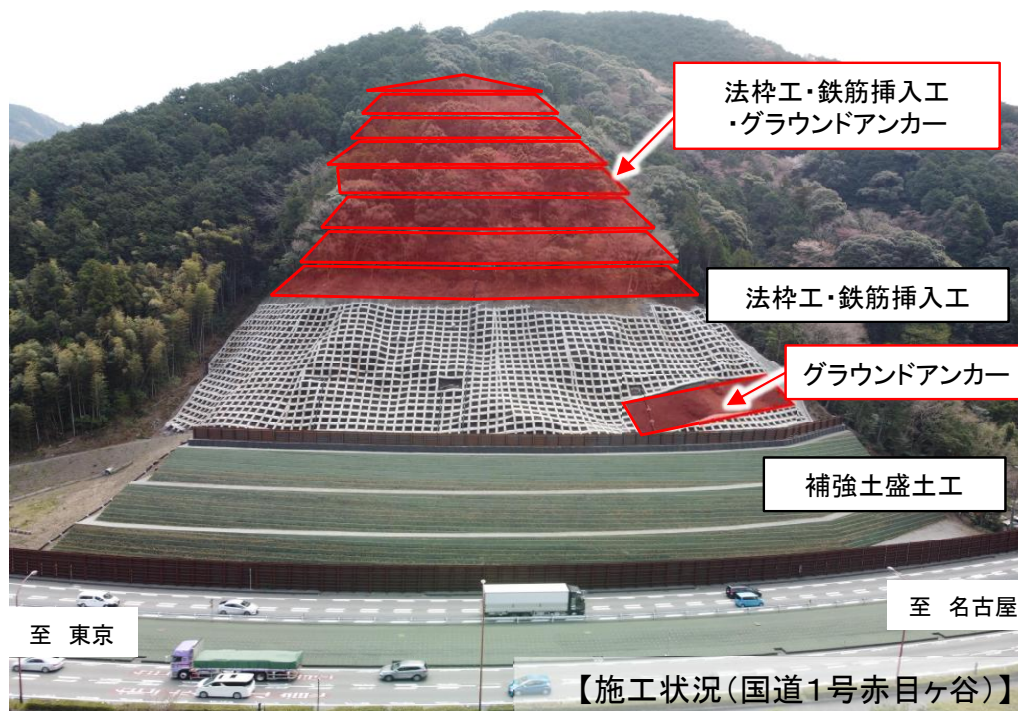
令和7年度は、  
 ・国道1号岡部バイパスの静岡市駿河区赤目ヶ谷地区において、法面防災工事を推進  
 ・国道52号において、要対策箇所における防災工事を推進 等

令和6年度末時点防災点検結果

	路線	判定(管理レベル)	
		I・II	III・IV
静岡維持(出)	国道1号	77	静岡市駿河区赤目ヶ谷: 1 藤枝市時ヶ谷: 1 島田市阿知ヶ谷: 1
	国道52号	83	富士宮市内房: 3 静岡市清水区央原: 3 静岡市清水区小河内: 2
富士維持(出)	国道1号	1	-
	国道139号	16	-
箇所数合計		177	11

### 令和7年度の主な事業内容

- ◆ 国道1号 静岡市駿河区赤目ヶ谷  
→ 法枠工・鉄筋挿入工・グラウンドアンカー
- ◆ 国道52号 静岡市清水区央原  
→ 横断函渠工



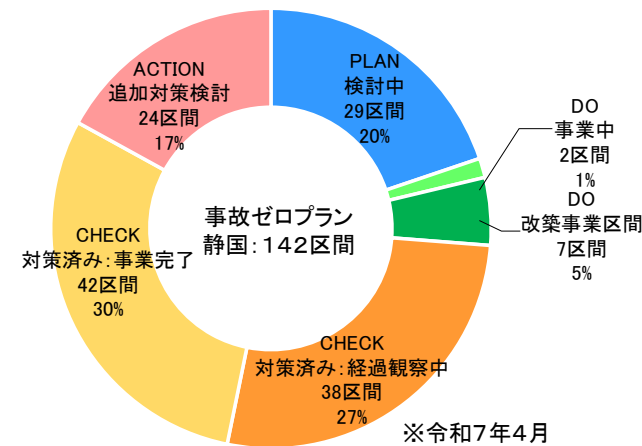
# 10 交通安全の推進

## ○令和7年度の主な事業箇所



- ### 令和7年度の主な事業内容
- ①【国道1号 黒金町地区通行空間整備】**効果検証(R6完了)**  
静岡県静岡市葵区黒金町  
＜対策内容＞・自転車歩行者道整備  
・バス停車帯整備等
  - ②【国道139号 広見IC交差点改良】 **工事継続**  
静岡県富士市伝法  
＜対策内容＞・下り線(北向き)オフランプ2車線化
  - ③【国道139号 阿幸地交差点改良】 **効果検証(R6完了)**  
静岡県富士宮市阿幸地  
＜対策内容＞・交差点のコンパクト化
  - ④【国道139号 富士宮通行空間整備】 **用地調査・取得予定**  
静岡県富士市猪之頭～根原  
＜対策内容＞・自転通行帯整備
  - ⑤【国道1号 川辺交差改良】 **調査設計**  
静岡県静岡市葵区川辺町  
＜対策内容＞・左折レーンの追加

《静岡国道管内の事故ゼロプラン区間数》



### 事故ゼロプラン

○事故データや地域の声に基づき交通事故の危険性が高い区間を「事故危険区間」として選定し、事故要因に即した対策を重点的・集中的に講じることにより効率的・効果的な交通事故対策を推進

○単に選定区間の対策を実施するだけではなく、継続的に事故発生状況をモニタリングし、必要に応じて迅速に改善を加えることで成果を上げていくPDCAサイクルで実施

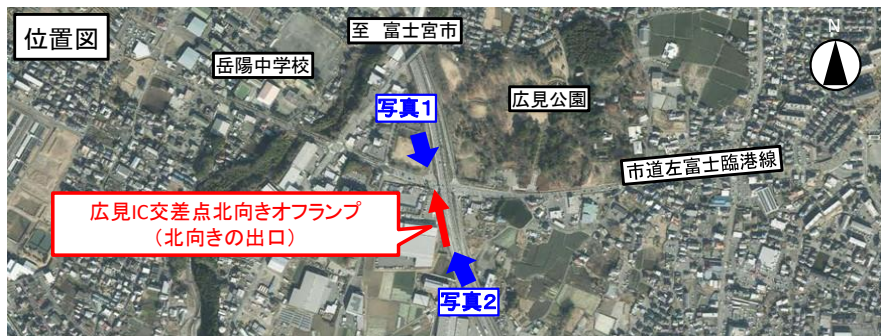
対策立案(P/Plan)～対策実施(D/Do)～効果評価(C/Check)～追加対策検討(A/Action)

# 10 交通安全の推進

## ○広見IC交差点改良(国道139号 広見IC(下りOFFランプ)2車線化)

○北向きオフランプでは交通渋滞が本線まで達しており、追突事故の発生が懸念される。そのため、オフランプを2車線に拡幅(左折レーン設置)するとともに延伸することで、本線までの滞留長を縮小し、交通事故の防止を図る。

○令和3年度に事業化。令和6年度より工事着手し、令和7年度は引き続き工事を実施。

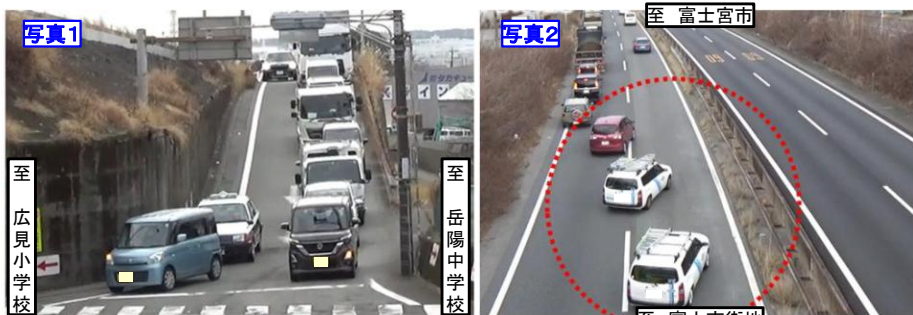


### 2. 対策内容

《対策イメージ》

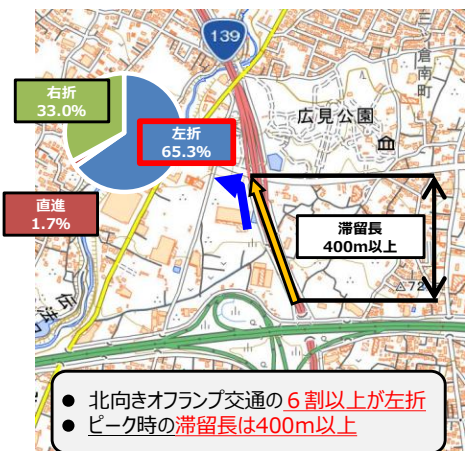


### 1. 現状・課題

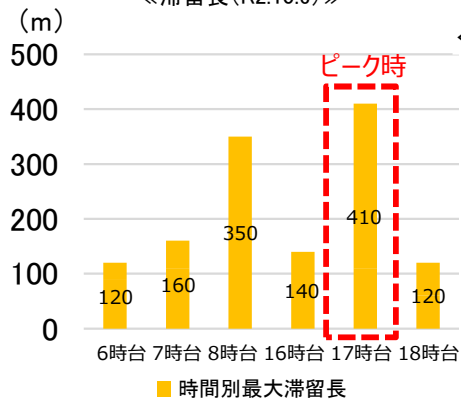


《対策前後の比較》

項目	対策前	対策後
イメージ図		



《滞留長(R2.10.6)》



《完成イメージ》



※滞留長…1回の赤信号で滞留する車列の長さ

# 10 交通安全の推進

## ○生活道路対策の取り組み(各自治体への支援)

- 生活道路における人優先の安全・安心な通行空間整備の更なる推進を図るため、最高速度30km/hの区域規制と物理的デバイスを組み合わせて交通安全の向上を図る『ゾーン30プラス』が令和3年よりスタート
- 令和3年度には、交通分析結果の提供等の支援を行ってきた、静岡市清水区鶴舞町地区が『ゾーン30プラス』に登録。令和4年度は、藤枝市にて地元意見を反映した生活道路対策を推進するため、住民参加型ワークショップに対する技術的支援。令和6年度は、ゾーン30プラスのモデル地区登録に向けて、また小学校周辺の安全対策検討のため、交通分析結果を提供。令和7年度も引き続き要請に応じ技術支援を実施

ゾーン30プラス登録状況

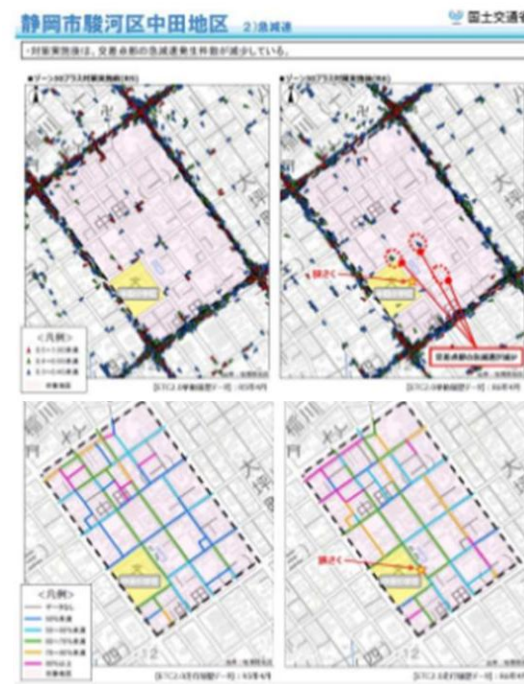
令和7年3月時点

No.	自治体	地区名	登録年度	整備年度	効果検証	支援内容
1	静岡市	清水区 鶴舞町(入江西)	R3	R3	R5	交通分析結果の提供
2	静岡市	清水区 入江東	R4	R4	R5	交通分析結果の提供
3	静岡市	駿河区 中田	R4	R5	R6	交通分析結果の提供
4	藤枝市	岡部町 三輪	R6	R6	R7	交通分析結果の提供,WS 参画

## ○令和6年度の支援状況(8地区に対しETC2.0プローブデータによる交通分析支援を実施)

### ■分析支援実施エリア

分析支援	分析実施地区		分析項目
現況交通分析	静岡市	清水区 桜が丘地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故</li> <li>・急減速</li> <li>・プローブ台数</li> <li>・平均速度</li> <li>・30km/h超過割合</li> <li>・85パーセンタイル速度</li> <li>・抜け道利用</li> </ul>
	静岡市	葵区 駿府城公園地区	
	藤枝市	青島地区	
	静岡市	駒形小学校地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平均速度</li> <li>・30km/h超過割合</li> <li>・抜け道利用</li> <li>・プローブ台数</li> </ul>
	静岡市	西奈小学校地区	
	静岡市	松野小学校地区	
	静岡市	清水三保第一小学校地区	
整備効果分析	静岡市	駿河区 中田地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急減速</li> <li>・平均速度</li> <li>・30km/h超過割合</li> <li>・85パーセンタイル速度</li> <li>・抜け道利用</li> </ul>



# 11 無電柱化の推進

## ○令和7年度の主な事業箇所

○災害時における緊急輸送道路の確保を目的に、防災拠点の富士ICと富士宮市民体育館を結ぶ区間の国道139号において、電線共同溝の整備により、無電柱化を推進

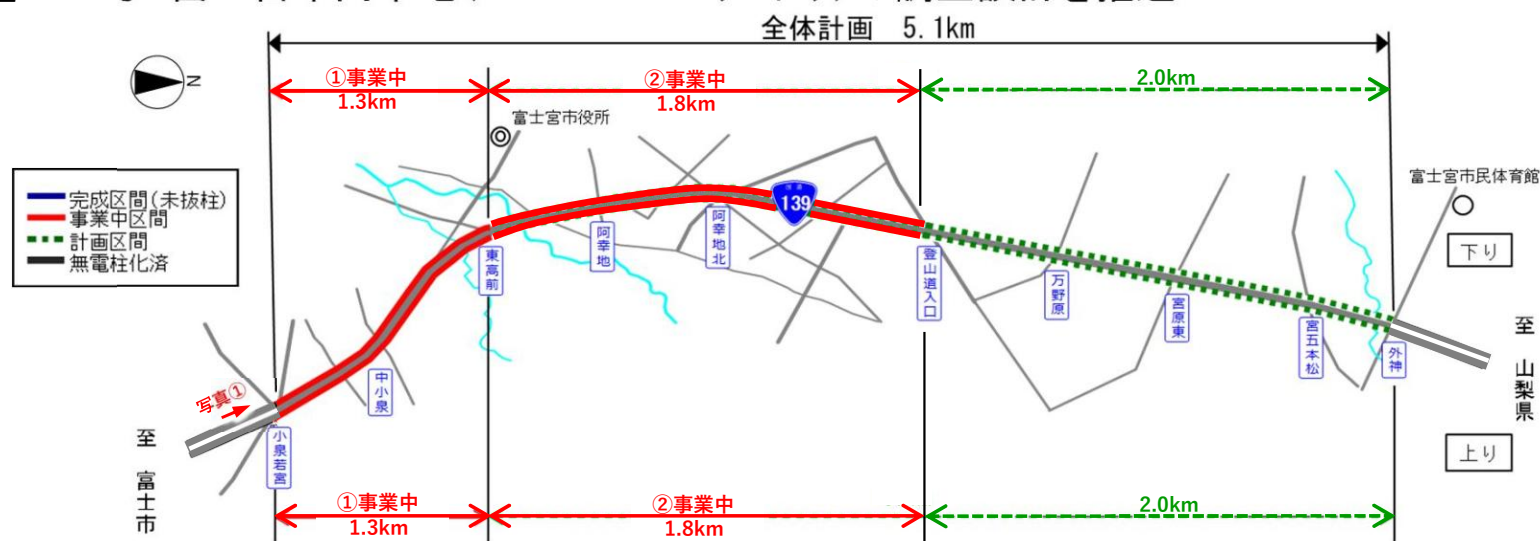
○令和7年度は2区間において事業を推進

①小泉電線共同溝事業(令和5年度事業化)

・国道139号 富士宮市小泉(L=2.7km 上り・下り)の本体工事、支障物移転を推進

②阿幸地電線共同溝事業(令和7年度新規事業化)

・国道139号 富士宮市阿幸地(L=3.5km 上り・下り)の調査設計を推進

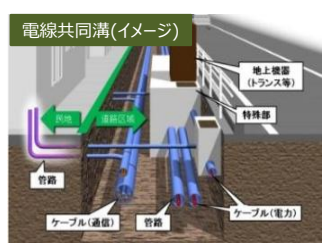


①国道139号 小泉電線共同溝

《現地状況》



イメージ図



【整備効果】(国道1号 駿河区中吉田の事例)



整備前



整備後

# 12 標識改善

○標識改善の取り組みとして、訪日外国人旅行者の増加や道路のネットワーク強化に対し、分かりやすい道路標識となるように、令和2年度に道路標識改善の「取組方針(重点整備エリアと対象路線)」を策定。

○令和3年度より標識改善に取り組み、令和7年度も引き続き、標識改善を実施。

## ■ 標識改善の取り組み



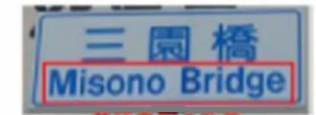
改善内容は以下の4種類  
A:英語表記の改善  
B:ピクトグラムの活用  
C:通称名表記の統一  
D:観光エリアへの案内誘導強化

● : 主要な観光地  
★ : 主要な交通結節点  
(富士山静岡空港・清水港・新幹線駅)

## ■ 取組内容

○英語表記の改善

- ・英字サイズの拡大(日本語の高さの65%)。
- ・外国人利用者が理解できる英語表記。



英語表記の改善

○ピクトグラムの活用

- ・JIS化されたピクトグラムへの統一



ピクトグラムの活用

○通称名表記の統一

- ・複数表現のある英語名称の統一



<イメージ>



○観光エリアへの案内誘導強化

- ・「観光地に隣接する」または「観光地へのアクセス道路入口となる」交差点に 観光地の名称を表示。



ピクトグラムの活用(道の駅「宇津ノ谷峠」EV標識)

# 13 住民参加型の道路管理

## ○ボランティア・サポート・プログラム(VSP)

○VSPとは、地域や企業の皆さんに道路の美化清掃に参加していただき、快適な道づくりを推進するプログラム。  
 ○VSP協定を締結した実施団体において、道路の清掃・除草、緑化、安全点検等に関する活動を継続的に実施。

### ■静岡国道事務所管内で活動中の団体（19団体）

協定締結日	団体名	活動場所
H14.8.19	大岩4丁目町内会	国道1号 静岡市葵区内
H19.11.22	(株)ニッケーコー	国道1号 静岡市駿河内
H22.12.15	藤田電気(株)	国道1号 静岡市葵区～駿河区内
H25.10.17	(一社)静岡県設備協会	国道1号 静岡市葵区内
H27.3.30	セイトー(株)	国道1号 静岡市葵区～駿河区内
H27.7.28	富士山朝霧高原景観管理協議会	国道139号 富士宮市内
H28.7.4	えんの会	国道139号 富士宮市内
H29.9.14	(一社)静岡県トラック協会中部支部	国道1号 藤枝市内
H30.11.21	国際航業(株)中部支社	国道1号 静岡市葵区内
R3.11.2	(株)ナガシマ電子	国道1号 静岡市駿河区内
R3.11.15	(株)NIPPO静岡統括事業所	国道1号 静岡市駿河区内
R3.11.15	静岡中央建設(株)	国道1号 静岡市駿河区内
R3.12.17	朝霧メイプルファーム(有)	国道139号 富士宮市麓地先
R4.8.8	遠藤建設(株)	国道1号 富士市市内
R4.8.23	(合)イデオモーター	国道1号 静岡市清水区内
R4.8.23	ケルヒャージャパン(株)	管内の国道のうち一部分
R4.11.11	静和工業(株)	国道1号 静岡市葵区内
R6.12.4	興津地区まちづくり推進委員会	国道52号 静岡市清水区内
R6.12.4	(株)橋本組	国道1号 藤枝市内

### <清掃・除草活動>



(株)ナガシマ電子



(合)イデオモーター



遠藤建設(株)



静和工業(株)



<安全点検>  
国際航業(株)



<緑化活動>  
大岩4丁目町内会



(一社)静岡県設備協会



セイトー(株)

# 13 住民参加型の道路管理

## ○道路協力団体

- 道路における身近な課題の解消や道路利用者のニーズへのきめ細やかな対応などの業務に自発的に取り組む民間団体等を支援。
- 道路管理者と連携して業務を行う団体として法律上位置づけることにより、自発的な業務への取組を促進し、地域の実情に応じた道路管理の充実を推進。
- 地域の方々や有識者と意見交換を行い、団体としての活動を持続可能にする手法を検討。

<トピックス>



道路協力団体

令和4年12月にロゴマークが決定

### ■静岡国道事務所管内の道路協力団体

道路協力団体名	あさぎり 富士山朝霧高原景観管理協議会	まりこ 特定非営利活動法人 丸子まちづくり協議会
初回指定日	平成28年12月27日(火)	令和3年1月18日(月)
指定区間	国道139号 28k400(富士宮市猪之頭)～ 36k250(同市根原)	国道1号 187k300(静岡市駿河区丸子)～ 191k900(藤枝市岡部町岡部)
業務内容	(1号業務) 歩道等の除草・清掃・除草剤散布 (2号業務) 募金活動、活動応援自動販売機の設置 (4号業務) 集約案内サインの設置の研究 (5号業務) 道路景観に関する普及啓発、富士山一周サイクリングルートの整備を踏まえた修景活動などの検討	(1号業務) 道路清掃・花壇整備 (2号業務) 自動販売機設置、オープンカフェ・朝市、道路案内設備整備、レンタサイクル、観光ガイド、予約駐車場 (3号業務) 駐車パトロール・注意喚起看板設置 (5号業務) ワークショップ、道路に関する普及・啓発活動等

■除草・清掃(朝霧高原)



写真：R6.10月撮影

■バイクスタンドの設置(朝霧高原)



■ワークショップ(宇津ノ谷峠)



■やじきたウォークin 宇津ノ谷

内容：宇津ノ谷峠の歴史や文化を楽しむイベント  
【春】4月21日 参加者86名 / 【秋】11月9日 参加者85名

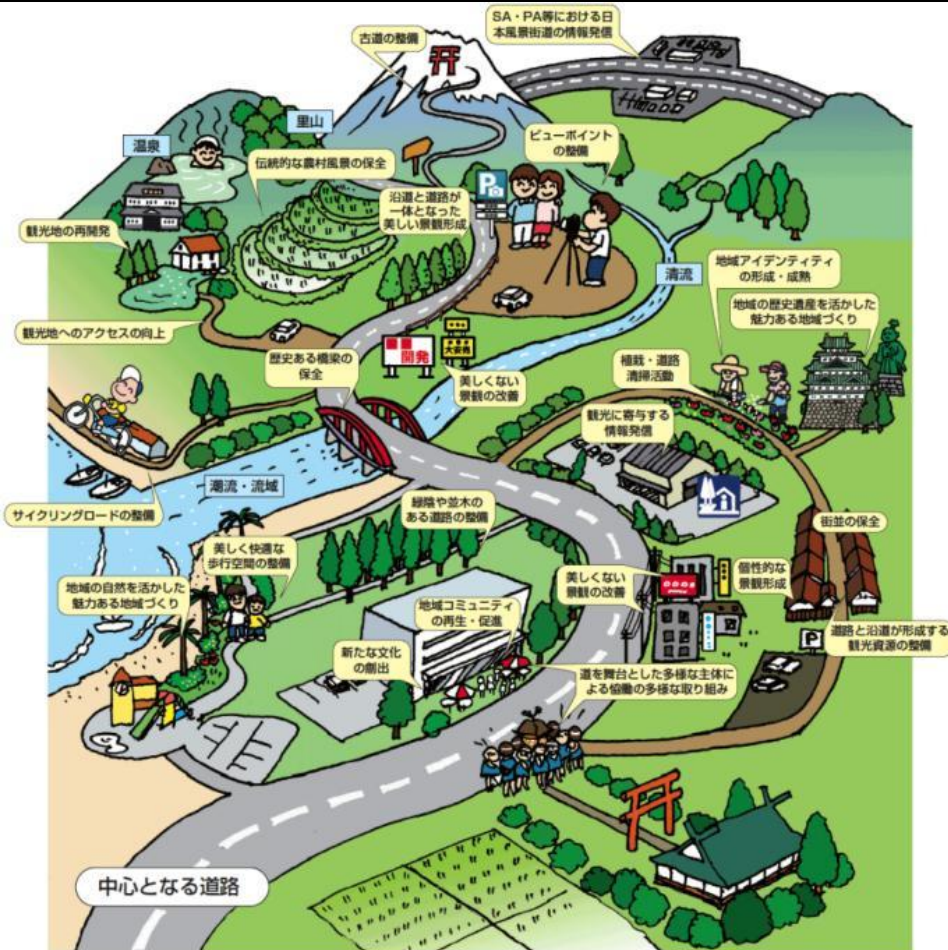


# 14 道路を活かした地域の活性化

## ○日本風景街道

○郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見、創出するとともに、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創成する運動を促し、地域活性化、観光振興、美しい国土の形成を目指す取組。

○令和7年2月現在、全国で146ルートが登録。  
静岡国道管内では3ルートの活動を支援。



日本風景街道のイメージ

## ぐるり富士山風景街道

富士山の見える道風景、富士山をぐるりと巡る道風景を守り・創り・伝えていく

霊峰富士を巡る幾筋もの道には、日本人の祈りの風景があり、それを支えた暮らしの風景があります。春夏秋冬、さまざまな角度から眺める富士の姿は美しい。

「ぐるり富士山風景街道」は、その名のとおり、国道138号、139号、469号をつないでぐるりと富士山麓を一周するルートが主軸になっている。

### 地域の活動推進体制

■ぐるり富士山風景街道  
NPO法人地域づくりサポートネット、NPO法人まちづくりトッパーナーふじのみや本舗、富士山朝霧高原景観管理協議会等29団体(静岡県側)、行政機関

### 地元の取組・活動

富士宮市朝霧地区や御殿場市及び小山町では、地域の方々を中心に、転落防止柵の茶色への塗り替え、除草・ゴミの清掃や花の植替えによる環境美化活動など優れた景観を守る活動を行っている。



# 14 道路を活かした地域の活性化

## ○日本風景街道

### するが 東海道「駿河2峠6宿風景街道」

東海道と富士山、宿場と峠を満喫する

江戸時代、五街道のうち最も重要な街道だった東海道。静岡市には、その東海道の宿場が6宿（蒲原、由比、興津、江尻、府中、丸子）あり、当時の町並みや史跡など歴史的な文化を残している。さらに、歌川広重が見た東海道の風景が現在でも唯一眺望できる薩埵峠と、伊勢物語の舞台にもなった宇津ノ谷峠がある。

富士山の絶景が楽しみ、ウォーキングに最適。ナショナルサイクルルートに認定された太平洋岸自転車道もこの道と重なっており、サイクリングも楽しめる。

### おおいがわ 大井川流域「南アルプスへの道・お茶の道」

南アルプスの豊かな自然・お茶街道の魅力を満喫

南アルプスや大井川などの雄大な景観、四季折々の見所が満載で、桜の名所、映画ロケ地の駅舎、美しい景観に囲まれた温泉などの豊富な地域資源が楽しめるとともに、SLや日本唯一のAPT式鉄道で行く大井川流域の旅は最高。

さらに、東海道の難所として知られた大井川流域に育んでいる宿場町（島田宿・金谷宿）の歴史や駿河神楽などの伝統文化の資源も満載。又、牧之原台地から始まる大井川筋は「お茶街道」となっており、見て、飲んで、体験できるお茶の街道としても楽しめる。

#### 地域の活動推進体制

##### ■静岡二峠六宿街道観光協議会

NPO法人地域づくりサポートネット、NPO法人丸子まちづくり協議会、しずおか街道観光研究会等23団体、郷土史家(学識経験者等)2名、行政機関

#### 地元の取組・活動

町内会、ビルの管理者、企業、地域の住民、国、県、市など、様々な方々の協力を得て、案内サインの設置、ベンチ等の塗り替え、さらに石碑の修景、解説マップ等の情報発信など、旧東海道の「まち磨き」を行い、「魅力ある2峠6宿」を育てている。

#### 地域の活動推進体制

##### ■大井川流域サイクルツーリズム協議会

大井川鉄道株式会社、観光協会 3団体、行政機関

#### 地元の取組・活動

新東名「島田金谷IC」降りてすぐにある「KADODE OOIGAWA」では、大井川流域の緑茶・農業・観光を「飲んで、食べて、買って、体験して」楽しむことができる。



# 14 道路を生かした地域の活性化

## ○ほこみちによる地域活性化

- 令和2年11月25日、「道路法等の一部を改正する法律」の施行により、「ほこみち」制度を創設。
- 令和5年8月10日、静岡国道事務所管内において、一般国道139号道の駅「朝霧高原」を「ほこみち」指定。
- 静岡駅周辺の交通拠点の機能強化・再編の検討で目指す、静岡駅北口の賑わい創出の早期の取り組みとして一般国道1号「しずマチ」の利活用について地域や関係自治体と検討。

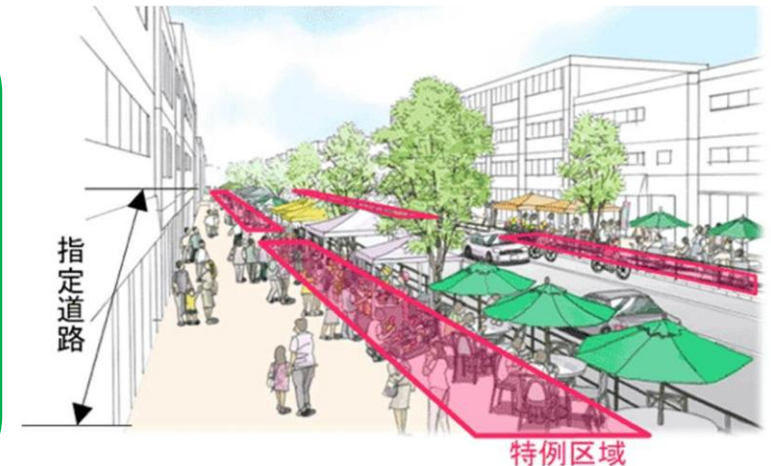


ほこみち

「ほこみち(歩行者利便増進道路)」制度とは？

- 歩行者にとって、道路を便利で賑わいあふれる空間として、創り出すための指定制度
- 「ほこみち」として指定する道路において、「特例区域」を指定することにより、道路空間を活用する際に必要となる、「道路占用(※1)」の許可にあたって、「無余地性(※2)」と呼ばれる基準が除外され、柔軟に許可を受けられます

- ※1 道路管理者以外の者が、道路の区域に“モノ”を設置し、継続して使用すること
- ※2 道路の区域以外に、“モノ”を置く余地がなく、道路に置くことがやむを得ない場合のみ許可する、という基準



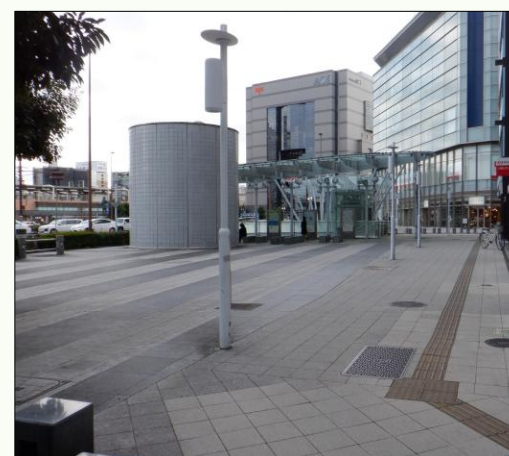
■「ほこみち」に指定された「特例区域」のイメージ



一般国道139号道の駅「朝霧高原」の様子  
(ほこみち指定箇所)



JR静岡駅周辺地図



一般国道1号「しずマチ」の様子



# 14 道路を活かした地域の活性化

## ○富士山夢の大橋でのインバウンド対応

- ふじさんゆめ おおはし
- 富士山夢の大橋がSNS映えする富士山写真の撮影スポットとして人気を集め、連日多くの外国人観光客が詰めかけている。
  - 住宅地への路上駐車、ゴミの不法投棄、橋上での道路横断、中央分離帯への侵入などの迷惑行為が問題に。
  - 地元自治体と協力しながら駐車禁止看板や観光用駐車場の運営などの対策を実施するも、観光客の増加により一層の対策が求められる状況となった。
  - 令和6年5月以降、『「富士山夢の大橋」観光と地域の共存を考える会』を開催。行政だけでなく地区代表も参加し、課題の共有・整理、富士山夢の大橋を地域の活性化に活かす対策の検討を実施。



富士山夢の大橋

写真：R6.5月撮影

### ■ 現地の対策状況



中央分離帯への進入防止のためのフェンスを設置  
※国交省により実施



駐停車禁止車止め（ポストコーン）の設置  
※国交省により実施



観光用駐車場の整備（約17台）  
※富士市により実施



地域活性化社会実験によるキッチンカー等の出店  
※富士市により実施

### ■ 「富士山夢の大橋」観光と地域の共存を考える会 開催状況



第1回「富士山夢の大橋」観光と地域の共存を考える会の様子

開催日等	実施内容(結果)
第1回 (R6.5.20開催)	当面の対策の実施内容、役割分担の検討等
第2回 (R6.7.22開催)	当面の対策の進捗状況の共有、短・中長期的な観光施策の検討等
第3回 (R7.1.17開催)	現状の報告(来訪者数の推移等)、短期的な観光施策の検討等

# 15 自転車の利用環境の整備と活用促進

## ○太平洋岸自転車道

○太平洋岸自転車道は、千葉県から静岡県を通り、和歌山県に至る延長約1,400kmの自転車道で、令和3年5月31日にナショナルサイクルルート(NCR)に指定。

○令和6年度は地区協議会を開催し、NCR指定から3年経過した現在の状況や課題を静岡県など沿線自治体と共有。「安全点検の手引き(案)」に基づき、適正な自転車走行環境維持に努める。

### ■太平洋岸自転車道ルート図



### ■安全点検のチェック項目(案)

(一般利用者向け)

(道路管理者向け)

チェック項目	
1)路面状態	路面の凹凸、バンク原因となる落下物、砂や落葉等の溜りなどにより危険性を感じるか
2)走行空間	走行の妨げとなる植栽・道路施設(防護柵など)や、道路からの転落などの危険性を感じるか
3)注意喚起	急な坂・トンネル・橋梁や、自動車・人の通行が多い箇所などにおいて「注意を促す看板」がなく危険性を感じるか
4)案内誘導	目的地・分かれ道や、拠点しせつなどへの案内が足りないと感じるか  多言語(日本語と英語)やピクトグラム案内が足りないと感じるか  標識や路面標示の劣化はあるか
5)その他	上記以外に気づいた点

チェック項目	
舗装・路面	未舗装、ひび割れ、わだち掘れ、ポットホール、隆起、溝、段差
落下物	バンクの原因となるガラス破片・釘の散乱、通行の妨げになる落下物
堆積物	砂や落葉等の堆積物
植栽	植栽の通行空間へのはみ出し等
附帯施設	走行の妨げになる道路附属物(柵、標識、車止め等)
防護柵	路外転落を防ぐための防護柵・転落防止柵の不足
老朽化	施設の老朽化や損傷している箇所はあるか
道路構造への注意喚起	トンネル、橋梁部、急勾配箇所等の注意喚起の不足
歩行者・自転車の注意喚起	歩行者・自動車が多い等の注意喚起の不足
経路案内	経路、分岐点、距離に関する案内表示・ピクトグラムの不足箇所はあるか
拠点案内	拠点(サイクリストに優しい施設)への案内に不足箇所はあるか(サイクルステーション、トイレ、ビュースポット等への一定間隔の案内)
多言語案内・ピクトグラム表示	多言語(日英2か国以上)やピクトグラムでの案内の不足箇所はあるか
案内表示の劣化	案内表示や矢羽根等の劣化はあるか
その他	上記以外に気づいた点

### ■太平洋岸自転車道の取組



### ■安全点検検討会構成

沿線自治体	静岡県、静岡市、富士市
警察	静岡県警
地域関係者	レバンテフジ静岡 ふじのくにeastサイクリストクラブ
学識経験者	埼玉大学 久保田教授 東海大学 鈴木准教授
事務局	国土交通省静岡国道事務所

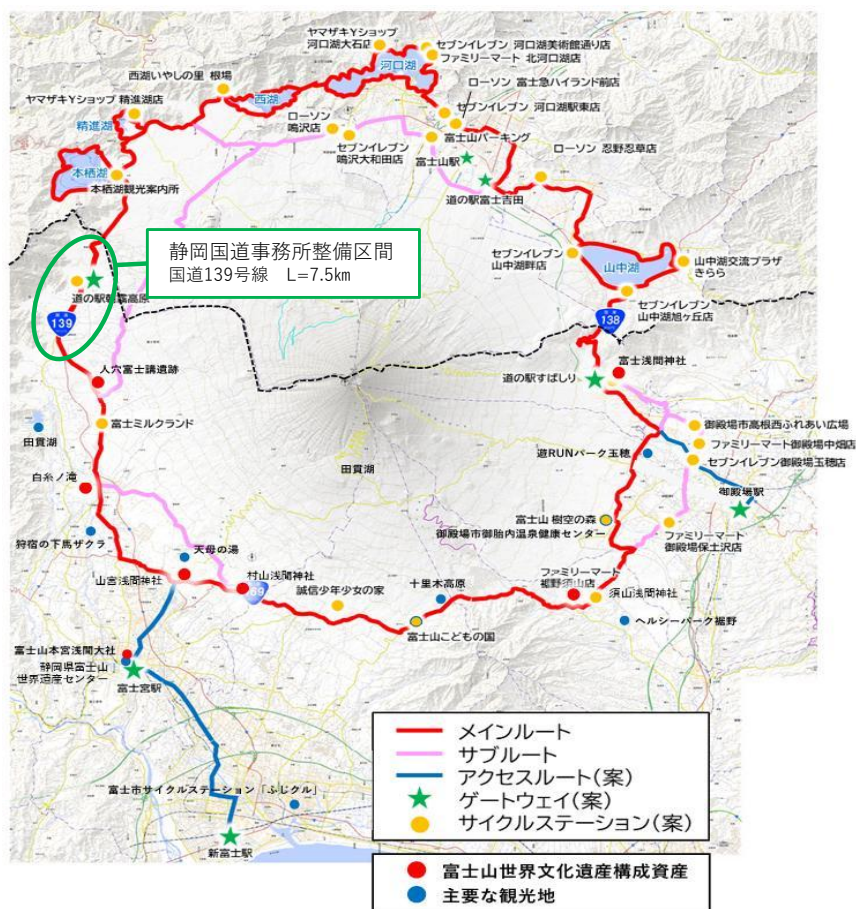
# 15 自転車の利用環境の整備と活用促進

## ○富士山一周サイクリングルート(フジイチ)

○ぐるり富士山風景街道の取り組みの中で、富士山を一周するサイクリングルートの静岡県側の推奨ルートを、太平洋岸自転車道との接続ルートや活動拠点への引込ルートとともに関係機関と調整し、令和3年6月に設定

○令和5年8月に静岡県と山梨県で「ぐるり富士山サイクルツーリズム協議会」を設立、令和6年3月に「フジイチ」ルートを決定。今後、引き続き、安全で快適な自転車通行空間の環境整備の推進やナショナルサイクルルート(NCR)指定に向けた自治体の活動を支援。

○静岡国道事務所管内において、令和6年度は一部区間で矢羽根の施工を実施。令和7年度はナショナルサイクルルート(NCR)区間において、NCRの指定に必要な標識・矢羽根等のルート案内を施工。



案内標識・路面標示等の整備イメージ



「フジイチ」のロゴマーク  
(令和6年2月決定)



国道139号から富士山を望む

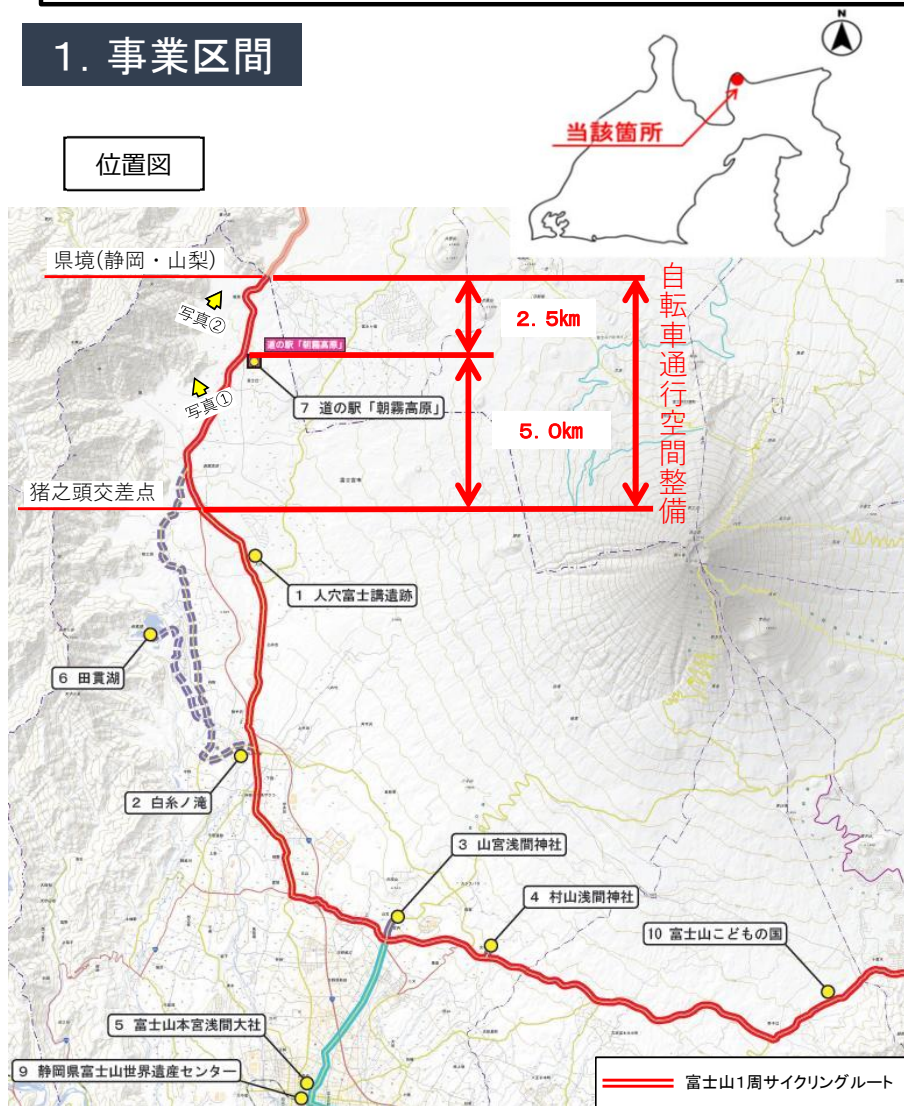
# 15 自転車の利用環境の整備と活用促進

## ○富士宮通行空間整備の概要

- 国道139号においては、朝霧地区の自治会および道路協力団体との議論を踏まえて、学童を含む歩行者及び自転車の安全・安心な通行空間整備(歩行者・自転車交通分離)を目的として、観光サイクリストの受入環境の整備をする富士宮地区通行空間整備を令和4年度から事業化
- 5.0km区間においては、令和6年度に用地調査を実施し、用地交渉に着手。令和7年度も用地手続きを継続
- 2.5km区間においては、令和7年度に用地調査を実施。

### 1. 事業区間

位置図



### 2. 現況



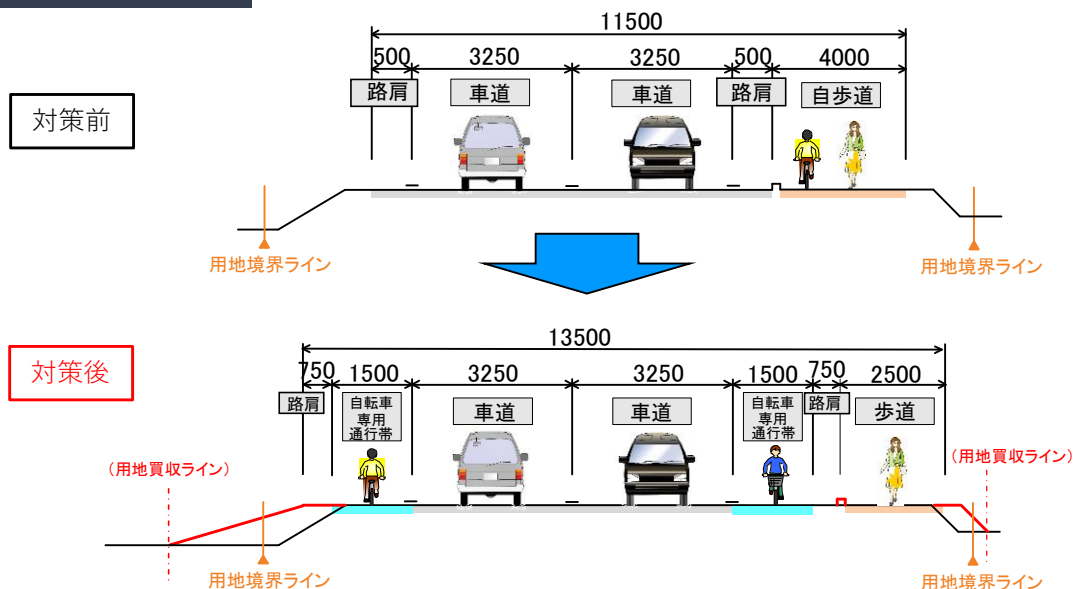
写真①：自転車通行空間整備箇所



写真②：自転車通行空間整備箇所

### 3. 対策内容

自転車専用通行帯の整備(上り線・下り線)



# 15 自転車の利用環境の整備と活用促進

## ○大井川流域のサイクリングルート

○日本風景街道『大井川流域「南アルプスへの道・お茶の道」』の取組で、サイクリスト向け設備やルートの整備を通し、大井川流域のサイクルツーリズムを推進。

○令和6年に「大井川流域サイクルツーリズム協議会」にて、サイクリングルートのマップを作成。道の駅や観光案内所などで配布・広報しており、サイクルツーリズムの更なる発展を図る。

### ■大井川流域のサイクリングコース



道の駅川根温泉から見る大井川を渡るSL

ほうらいばし  
世界一長い木造歩道橋「蓬萊橋」

かどで  
大井川鐵道門出駅に隣接する体験型フードパーク「KADODE OOIGAWA」

出展：島田市観光協会HP

### ■サイクリスト向け設備のある施設



### ■サイクリングマップ



大井川流域  
Cycling MAP

~島田市エリア周遊ver~

大井川流域「南アルプスへの道・お茶の道」

# 16 地域への情報発信

- ホームページやSNS、地域広報誌等を活用し事業内容や進捗状況等を発信。
- SNSを活用し、工事による交通規制、災害による通行止めや被災、復旧の状況、今後の見通し等をリアルタイムで道路利用者への情報提供を実施。工事による成果、交通規制協力への感謝をしっかりと事後広報することにより事業への理解を向上。(フォロワー数3.1万人 ※令和7年1月時点)
- イベントや親子現場見学会、地元企業と連携した出前講座等を通じて、子どもや学生に向け建設業の魅力をPRすることで建設業への興味促進、担い手の確保を図る。

## ホームページ・SNS・地域広報誌

- ・ホームページでは記者発表のほか、道路状況の分かるライブカメラ画像や各事業、施策の進捗状況などを掲載
- ・Xではリアルタイムで災害時の通行止めや被災、復旧、今後の見通し等を発信中。動画投稿を増やすことで必要な情報を効果的に道路利用者へ発信
- ・地域広報誌等を活用し、親しみやすい表現で事業内容を発信することで、道路事業への興味を促進

### ■ 静岡国道事務所ホームページ



<https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/index.html>

### ■ タイムラプス動画の発信(しずこくX)



[https://x.com/mlit\\_shizukoku/](https://x.com/mlit_shizukoku/)

### ■ 地域広報誌を活用した地域へのお知らせ



<https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/torikumi/chikioshirase.html>

### ■ 被災状況動画の発信(しずこくX)



越波の動画を見られます！

## イベント・出前講座

- ・年間を通じてイベントや親子現場見学会、地元企業と連携した出前講座を開催。
- ・地元自治体だけでなく、地元工業高校や大学と連携した課外授業を実施し、子どもや学生に向け、「どぼく」をPR



地元企業と連携した出前講座の開催



自治体と連携した小学生向け現場見学会



親子現場見学会の開催



地元大学生と一緒に「どぼく」をPR



地元工業高校生と建設業者による課外授業の実施

# 17 建設業の課題解決に向けた取り組み

## ○担い手確保・育成

- 建設業において高齢化等により技能労働者が大量に離職することが見込まれることから、将来を担う若者の入職・定着を促し、人材を確保することが重要。
- 様々なイベントを通して地域や関係機関と協働して建設業をPRすることで担い手確保の取り組みを展開。
- 他機関との若手職員の共同研修などの継続した実施に加え、災害時の迅速な情報収集体制構築に向けたドローン操縦訓練など担い手育成の取り組みを推進。

### ■担い手確保

- イベントなどを通して建設業に興味をもってもらえるよう、自治体と協働して「どぼく」をPR



完成したトンネル内や高架橋を歩いたり、建設車両やパネルを展示することで、土木に触れる機会を創出

- 車両出動や事業ブース、出前講座でのPRを通して、親子連れに建設業を身近に体感。



- 道路メンテナンスサイクルの確立に向けた必要な技術力を身に着けた職員採用のため、土木系学生が各自治体の採用情報へアクセスし易くなるよう「静岡県道路メンテナンス会議」※1を通して、学生向け採用案内パンフの作成や県内道路管理者の採用情報ポータルサイトの改良、採用情報の定期的な更新・合同発信を展開。

※1 静岡県道路メンテナンス会議：静岡県の持続可能な発展を実現するために、静岡県と県下35の自治体に参加して、道路インフラを維持する活動に取り組む組織

自治体	職種	募集人数	応募資格
静岡市	土木系	10名	大学卒業以上
浜松市	土木系	5名	大学卒業以上
豊田県	土木系	3名	大学卒業以上
...	...	...	...



ポータルサイトを改良し、採用情報へのアクセス性を向上

### ■担い手育成

- 若手職員の技術力研鑽を目的に、他機関(NEXCO等)と共同で相互の現場見学会を開催。
- 若手職員の技術力継承のため、直轄工事の施工現場を活用した「施工技術研修」を年間を通して実施。
- 災害に備えて、若手職員を対象にした災害対策用機械や遮断機の操作訓練、ドローン飛行訓練を実施。
- 土木工事に必要な材料の製造過程を身に付けるため、他事務所含め若手職員向けに工場見学会を開催。



NEXCO中日本との相互現場見学会



施工技術研修



遮断機操作訓練

ドローン操作訓練



生コン工場(試験体験)

PC工場

- 道路インフラの予防保全・老朽化対策の技術力向上のため、若手職員向けに現場研修主体のメンテナンス系点検勉強会を複数回開催。



メンテナンス系点検勉強会

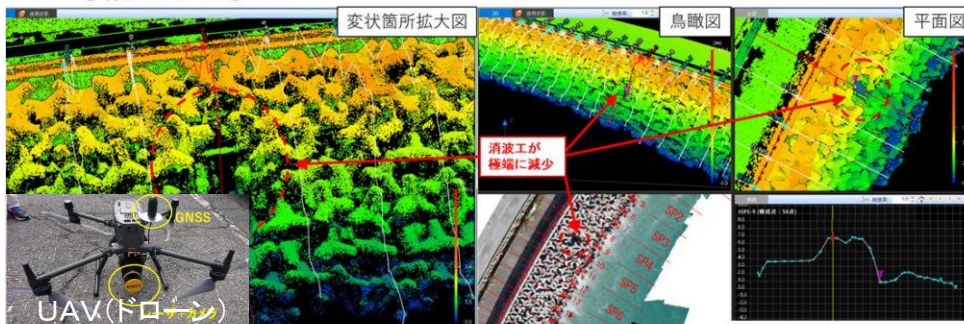
# 17 建設業の課題解決に向けた取り組み

## ODX・新技術の活用(Digital Transformation)

- 労働力人口が減少する中、社会資本の効果的な整備を図るため生産性向上が不可欠。
- ODX・新技術・新工法の活用で省人化・安全確保や長時間労働抑制・休日確保など働き方改革に取り組む。
- さらに低炭素で持続可能な道路交通実現のため、CO2削減などによる省エネルギー化の推進やカーボンニュートラル(炭素中立)実現に向けた道路交通のグリーン化(EVの普及推進)などの取り組みを推進。

### ■ UAVを用いた3次元計測による調査の効率化

従来、陸上及び海上からの目視調査や横断測量調査に代わり、UAVを用いた3次元計測を採用することで、従来調査に比べ、現場作業日数の大幅な削減のほか、足場状況が悪い現場での転落等の事故リスクの軽減が可能となる。また、点的、線的な変状状況が、3次元計測による点群データにより面積的な変状状況の把握が可能となり、画像解析と合わせて消波ブロックの損傷や沈下の状況が精度よく確認することが可能となる。



UAV計測により取得した点群データ

### ■ 照明灯のLED化等で省エネルギー化を推進

道路・トンネル照明灯を消費電力が少ないLED化等により、省エネルギー化を推進し、CO2排出削減を図る。

照明灯LED化  
(右上写真:更新前)



### ■ BIM/CIMの活用による建設生産管理システムの効率化

BIM/CIMとは、設計や工事において、3次元モデルを作成・活用することにより、詳細な検討や現地の分かり易い説明が可能になり、作業の効率化や安全性の確保・向上を図る。現地状況を3次元化して、道路利用者目線での工事規制形態の検討・検証にも活用する。



### ■ 遠隔臨場の推進(工事等の監督・検査業務の効率化)

監督・検査業務に対して、ウェアラブルカメラやタブレット等の活用によりリモートの「段階確認・材料確認・立会」を実施する。複数の現場でも日程調整し易く、工場製作工程を止めず、臨場に要する労働時間の抑制に寄与し、継続して取り組んでいく。



タブレットの映像を見ながら  
遠隔にて検査を実施

# 17 建設業の課題解決に向けた取り組み

## ○働き方改革

- 建設産業における働き方改革については、長時間労働の是正や週休2日の確保が必要であり、国土交通省として、週休2日工事の拡大を推進。
- 現場レベルでの働き方改革を進めるため、受注者が作成する書類の削減や受注者との意見交換、ウィークリースタンスなどに取り組む。
- 事務所若手職員が働き方改革について検討し、オフィスリノベーションをはじめとする執務環境の改善、業務効率化やコミュニケーションの活性化を図るための取り組みを実施。今後も誰もが働きやすく、働きたいと思える魅力的な職場とするため、事務所全体で多様性を意識した働き方改革を推進。

### ■現場レベルでの建設産業の働き方改革の取り組み

- 中部地方整備局として、発注者指定による完全週休2日(土日閉所)工事の拡大を推進。
- 現場での具体的な改善策等に関し、受注企業・監理技術者等と意見交換
- ウィークリースタンス実施要領に基づき、取り組み内容について受発注者双方で確認し、施工計画書に記載し実施に努める。



受注者との意見交換

### ■静岡国道事務所における魅力的な職場づくり

- 若手職員の提案による働き方改革施策の実現
- 若手職員や女性職員の意見を取り入れた『オフィスリノベーション』
- IT技術等を活用して、効率的かつ快適なオフィス環境づくりを推進する『スマートオフィス化』
- 就業時間の意識づけのための『終業5分前BGM』



若手・女性職員による検討



オフィスリノベーション

# 17 建設業の課題解決に向けた取り組み

## ○安全の確保

- 労働災害の撲滅を目指して、日々の安全活動に加え、事務所全体の安全協議会の開催や安全パトロールの強化(総括監督員による安全点検、抜き打ち点検の実施、下請けの参加)など、事務所及び工事関係者が一丸となって、安全確保の取り組みを推進。
- 令和5年度に起きた痛ましい事故を二度と起こさないという決意とそれを決して忘れないために、7月6日を「しずこく安全の日」と制定。工事における作業員等の安全のみならず、道路を利用するドライバーや歩行者、沿道住民、事務所で働く職員や関係者の安全など、事務所に関わるあらゆる安全を追求。

### ■国道1号清水立体尾羽第2高架橋事故



令和5年7月6日 事故発生(2名死亡、6名重軽傷)  
事故調査委員会 設置  
令和5年9月22日 報告書(中間とりまとめ)  
及び再発防止策 公表

### ■しずこく安全の日

- ・毎年7月6日を、清水立体工事事故を後世に伝えるとともに、「事故を決して忘れない」、「事故を二度と起こさない」という強い信念と決意を再確認する日として制定
- ・毎月6日に、安全意識の向上について取り組みを実施



令和6年7月5日開催 『しずこく安全の日』



### ■静岡国道事務所工事等安全協議会 総会(令和6年12月6日)



毎月開催 『しずこく安全意識を高める日』



安全スローガン(ポスター作成)